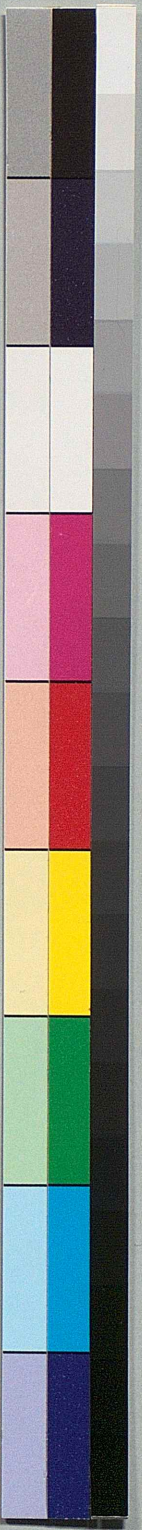


「学生便覧別冊」

昭和43年度開講科目



お茶の水女子大学



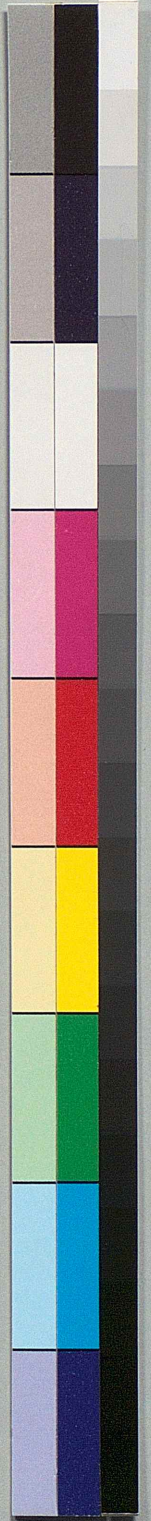
目 次

一般教育科目	1
人文科学系列	1
社会科学系列	2
自然科学系列	3
総合コース	4
保健体育	6
基礎教育科目	7
外国語	7
英語	7
ドイツ語	10
フランス語	12
教職教育科目	13

各学部（専攻科を含む）及び大学院研究科

附 表

1. 授業時間割表
2. 補導委員一覧
3. 行事予定（案）



一般教育科目・基礎教育科目・保健体育科目・外国語科目・教職教育科目等授業時間

()印は前期, []印は後期, 無印は通年 (A)は人文系列, (B)は社会系列, (C)は自然系列, (D)は教職教育科目

区分	1 8:30	2 9:20	3 10:10	4 10:20	5 11:10	6 12:00	7 13:10	8 14:00	9 14:50	10 15:00	11 15:50	12 16:40		
月	(A)心理学 (基礎化学Ⅱ) (基礎化学Ⅱ) (教育心理)	小口(新1) 立花(31) 塩田(31) 坂本(講堂) [青年心理]	(D)法学Ⅰ (D)経済学Ⅱ (D)動物学Ⅱ (D)基礎物理学 (D)物理学	井上(講堂) 垣木(23) 荒柳(31) 木田(22) 柳下(新1)	(基礎植物学Ⅰ) (基礎動物学Ⅰ)	塚本(22) 荒木(22)	体実 英・教Ⅰ(山中)	体実 児・被Ⅰ(山中)	体実 化・生Ⅰ(山中)	体実 食・経Ⅰ(山中)	体実 食・物Ⅰ(山中)	小学校教材研究		
火	英会話(全Ⅰ) 英語理ⅠA 英語理ⅠB 英語理ⅡA 英語理ⅡB 独語家Ⅱ 仏語全Ⅱ	ルイス(英講) 長谷川(別2) 井原(22) 木原(21) 渡本(25) 石杉(31) 岩崎(別1)	英語文ⅠB 英語文ⅡB 家Ⅱ 独語理ⅠA(文) 独語理ⅡB 仏語全Ⅱ	長谷川(別2) 酒本(21) 奥(22) 山田(31) 外志田(新2) 浜田(25) 岩中(別1)	英語文ⅠA 独語理ⅠB(文) 独語理ⅡB 独高級独文学演習 仏語全ⅠB(文)	奥(別2) 横溝政野(別1) 野(21) 志田(新2) 杉本(31) 中川(22)	独語理ⅠB(文) 家Ⅰ(文) 文ⅡA	原田(新2) 横溝政野(別1) 野村(別2)	体実 哲・史・地Ⅰ(山中)	体実 国・中・音Ⅰ(山中)	体実 国・中・音Ⅰ(山中)	体実 国・中・音Ⅰ(山中)		
水	(体育林)(講堂) (A)文学Ⅱ (B)家政学 (教育原理)	(保健松本)(講堂) 鶴島(別1) 田辺他(23) 吉田(新1) [教育指導 宮田]	(A)文学Ⅰ (B)美術Ⅱ (D)法学Ⅱ (D)物理学B (D)物理学C	堤柳(22) 新(1) 渡辺洋田(23) 岩橋爪上(別1)	独語理ⅠB(文) 政治学	宮原(別2) 横田地(23)	(A)宗教学	宮原(別2) 藤田(新1)	基礎数学Ⅱ	小川(別1)	体実 哲・史・地Ⅰ(山中)	体実 化・生Ⅱ(古江)	体実 国・中Ⅱ(森下)	体実 英・教Ⅱ(森下)
木	英語文ⅡA 英語理ⅡB 独語理ⅡB 仏語全ⅠA(文) (D)化学	山田(22) 野島川(別2) 小志田(25) 志田(新1) 岡嶋(31) 渡辺啓(23) 官坂(新1) 森]	英語文ⅠB 独語理ⅠA(文) 独語理ⅡB 独語理ⅡB 独語理ⅡB 独語理ⅡB 独語理ⅡB 独語理ⅡB	伊吹(23) 野島田(新2) 志田(22) 志田(21) 志田(25) 小杉(化) ハシ川(別2) 中岡(別1) 岡嶋(31)	英語文ⅠA 独語理ⅠB(文) 独語理ⅡB 仏語全ⅠB(文) 仏高級独文学演習	長谷川(別2) 杉本(22) 吉田(新2) 池川(別1) 中(21)	独語文ⅠA(文) 家Ⅰ(文) 家Ⅱ 仏語全ⅡA	井原(別2) 吉田(別1) 杉本(22) 小池(31)	体実 哲・史・地Ⅰ(山中)	体実 化・生Ⅱ(古江)	体実 国・中Ⅱ(森下)	体実 英・教Ⅱ(森下)	小学校教材研究	
金	(A)倫理学 (B)歴史学 (D)地学地誌 (基礎物理学A) (教育方法)	尾田(22) 史学科教育(新1) 式(23) 阿阪(別1) 坂元(21)	(A)哲学 (B)音楽学 (D)心理学 (D)人類学 (D)文化人類学 (D)統計学 (D)植物学 (D)数学 (基礎物理学Ⅰ) (基礎物理学Ⅱ) (教育哲学)	(藤田)(石塚)(新1) 大官(音講) 渡辺光(23) 寺田(新) 魚返(22) 津山(22) 村山(31) 小太田(別1) 山田(化) 周郷(21)	(D)社会学	園田(新1)	体実 数・物Ⅱ(熱田)	体実 音・児Ⅱ(熱田)	体実 食・被Ⅱ(石山)	体実 数・物Ⅱ(熱田)	体実 音・児Ⅱ(熱田)	小学校教材研究		
土	英会話(全Ⅱ) 英語理ⅠA 英語理ⅠB 英語理ⅡA 英語理ⅡB 独語家Ⅱ 独語文ⅠB(文) 独語家ⅠA(文) 独語家ⅠB(文) 仏語全ⅠB(文) (道徳教育)	ルイス(英講) 伊吹(21) 南(数1) 酒本(25) 首藤(22) 石渡(31) 横溝節(新2) 横溝節(別2) 杉本(化) 本島(別1) (勝部)(周郷)(新1)	英語家ⅠA 独語理ⅠA(文) 独語理ⅡA(文) 仏語全ⅠA(文) 総合コース	南(化) 方藤田(22) 首藤(31) 横溝節(別2) 島(別1)	独語理ⅠA(文) 独語理ⅡA(文) 仏語全ⅠA(文) 総合コース	(新1)	区分 英語 文A 哲史地教 理A 数 物 文B 国中体音 家A 理B 化 生 独語 文A 哲史地教 理A 数 物 文B 国中体音 家A 理B 化 生 仏語 全A 文A十理 理A 哲史地教 (国中英体音) 文A 哲史地教 文B 英 教 理A 数 物 理B 化 生	その他 注1 外国語と体育実技の 組分。左表 注2 化学 岡嶋は教官の 指示により、文家両 学部をAとBの2組 に分ける。 注3 ロシア語は文教育学 部の共通科目である。 外国語科目とするこ とはできない。						

次

1
1
2
3
4
6
7
7
7
10
12
13

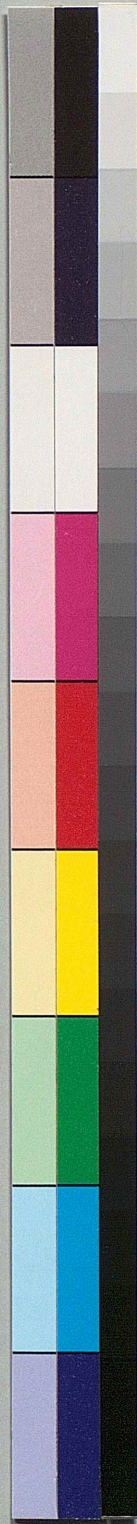
学院研究科

一般教育科目

基礎教育科目

外 国 語

教職教育科目



人文科学系列

科 目	教 官	学 年	内 容
哲 学	藤 田 石 塚	I 前 I 後	哲学についての一般的な序説の後、西洋哲学思想史を古代・中世（前期）近世（後期）について。
倫 理 学	尾 田	I・II 前	現代生活における倫理の問題を、科学・経済・政治・教育・芸術・宗教の側面から扱う。
心 理 学	小 口	I・II	
宗 教 学	藤 田	I・II	宗教現象を客観的、実証的、組織的に研究して、その特質、類型、構造、機能を明らかにし、個人や社会に対してもつ意味を追求したい。
文 学 I	堤	I	「文学とは何か」という問いに対して、日本文学の側から（とくに近世文学を中心に）考察する。
文 学 II	鍋 島	II	西洋の古典文学から、中世紀・ルネサンス・近代の文学に至るまでの文学の潮流を辿り、西洋文学の基本的課題を扱う。
美学・美術史	柳	I・II	先史時代より現代にいたる美術の歴史に表れた美術の基本的原理を、必ずしも時代的流れに拘泥せずに検討してゆく。スライドを豊富に使用。
音 楽	大 宮	I	ロマン派音楽研究。とくに今年度はドイツ・ロマン主義音楽について歴史的に講述する。

社会科学系列

科 目	教 官	学 年	内 容
法 学 I	井 上	I	日本国憲法の講義、今年度からは1年を通じて、条文の解釈、判例の検討を社会的背景との関連で行なう。 (昨年度までの総論・各論の区別はしない。)
法 学 II	渡辺洋	II	生活に密着した問題として家族、損害賠償、住宅、取引等の問題を取りあげ、法を身近に理解させる。テキスト六法全書。(参考)渡辺・法というものの考え方(岩波新書)
政 治 学	横田地	I	権力の社会学の立場から、権力の基本的構造、現代に特徴的な諸技術を明らかにし、専門的職業人の市民としての位置を確かめたい。
経 済 学	柴 垣	II	資本主義社会の経済法則および歴史的發展段階の推移について講義をおこなう。テキスト大田・戸原・大内著『経済学概論』東大出版会。
社 会 学	園 田	II	社会学の基礎概念や理論を説明しながら、現代社会の諸問題を解明していく。松原・蓮見・山本・園田『現代日本の社会学』(時潮社) ¥600。
歴 史 学	市 古	I・II	中国における伝統と革命
文化人類学	寺 田	I・III後	文化人類学の一般的知識を授けるために、世界の民族、文化の内容、文化とパーソナリティなどについて講義を行なう。
地 理 学	渡辺光	I 前	世界主要文化地域の概観。
家 政 学	伊 藤 田 辺 湯 沢	I 後	家政学の概説と現況

自然科学系列

科 目	教 官	学 年	内 容
数 学	村 田	I	前期では数学思想史から話題を拾う。(例:公理論史,無限論史など) 村田・茂木:数学の思想 ¥280 NHKボックス。後期は記号論理の予定。
物 理 学	岩 田	I 文家	前期において物理学におけるさまざまな思想の歴史的展望を、後期において相対論、量子論の概要と現代の情勢の展望。
化 学	岡 嶋	文 家	一般教育としての化学通論。(2組にわたる) 林太郎:化学総説 ¥380 裳華房。
生 物 学 (動 物)	荒 木	I 後	生物学の基本的諸問題
生 物 学 (植 物)	津 山	I 後	生物学の基礎的問題のトピックスを中心として話す。
地 学 (天 文 気 象)		I 後	
地 学 (地 質 鉱 物)	式	I 前	重力、地震、火山、岩石、地層など地学的諸現象の概観。
統 計 学	魚 返	I 前	一般教育としての統計学。 P.G.ホーニル著、浅井、村上、共訳:初等統計学 ¥620 培風館。

総合コース

大学と学問 井上 (序説)
 藤田, 波多野, 外山, 津守 (人文系列関係)
 蠟山, 中村, 園田 (社会)
 阿武, 米田, 岩田, 松川 (自然)

一般教育関係科目の各分野にわたる共通な一つの主題について, 総合的に学ぶものである。
 主として二年生対象。

履修単位数: 同一年度において4単位まで履修可能で, 二年度までの計8単位が一般教育科目の基礎単位として数えられるが, 一系列については4単位をこえてはならない。

セミナー: 総合コースの成果をあげるため前後期, 各1~2回程度セミナーを行う。

試験方法: 学年度末に, 各担当講師から試験問題が示され, 学生はそのなかから受験科目をきめる。
 三系列のうちいずれの系列の科目を受験することも自由であるが, 一系列については2単位まで, 全体で計4単位を取得限度としている。

基礎教育科目

科目	教官	学年	内容
基礎数学 I	小山	I	微積分の基礎と応用。
基礎数学 II	小川	II	微分方程式の解法及び線型代数とその応用。
基礎物理学 A	阿 阪	I・II 前	質点・質点系・剛体の力学。
基礎物理学 B	橋 瓜	I・II 前	物理学の波動, 音, 光, 熱に関する基本的事項。
基礎物理学 C	坂 上	I・II 後	電磁気学。
基礎物理学 D	下 瀬	I・II 後	光及び電子の粒子性, 波動性, 電子の量子力学, 量子統計, 物性論, 原子核。金原寿郎編 基礎物理学 下 裳華房。¥750
基礎化学 I	渡 辺	I	化学現象の基本的取扱いと物質の構成。
基礎化学 II	立 花	II 前	化学熱力学の方法に関する講義, 教科書未定。 ◎ [基礎化学 I, 基礎物理学 I, II]
基礎化学 II	塩 田	II 後	有機化学の入門コース。高橋詢訳: 基礎有機化学 (東京化学同人)
基礎動物学 I	荒 木	I 後	生物学の基本的諸問題。
基礎動物学 II	柳 田	II 後	生理学的動物学への導入。本年度も“動物生理学 I”と一本で実施する。
基礎植物学 I	塚 本	I 前	生物の物質代謝, エネルギー代謝について。
基礎植物学 II	太 田	II 前	蛋白質・核酸についての概論, 細胞の構造と機能の関連について。

保健体育科目

科 目	教 官	学 年	内 容
保健体育理論	林 松本	全I前	「保健体育概論」：大学体育研究サークル編 ¥450 山文社 松本は、個人衛生ならびに公衆衛生について、 林は、体育の概論と女子スポーツ及びレクリ エーション活動について講義する。
体育実技	林 石山 山中 熱田 森下 興水 古江	I・II	2年間で60時間を授業(第1コース)でと り、残りの30時間を体育第2コースで取得 する。但し、やむを得ない場合でも必ず第四 年次前期中に取得完了する。 第2コースは課外ならびに学外の体育活動を行 なって体育教官の認定を受ける。 第2コース課外計画予定については別に示す。

英 語

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)	長谷川	文IA	E.A. Poe: The Black Cat (大学書 林 ¥200)
(")	奥	文IA	未 定
(")	長谷川	文IB	R.L. Stevenson: Treasure Island (成美堂 ¥150)
(")	伊 吹	文IB	I.S. Eliot: The Aims of Education 講読 (鶴見書店)
(")	長谷川	理IA	R.L. Stevenson: The Body- Snatcher and Will O' the Mill (開文社 ¥150)
(")	伊 吹	理IA	Iris Murdock: The Italian Girl 講読 (英宝社)。
(")	武 井	理IB	
(")	南 方	理IB	D.H. Lawrence (野崎考註), England, my England (Nan'un England (Nan'un-do's Modern Readings) 南雲堂 ¥180
(")	野 島	家IA	J.P. Marquand: The rate George Apley (南雲堂) ¥220
(")	南 方	家IA	J. Galsworthy, The Dark Flower Spring (滝沢敏雄 註) 雪溪書房 ¥240

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)	山 田	家 I B	Lessing, Wain, Newby, Orwell (三沢 進 編註): Four English Modern Works(金星堂) ¥300
(")	首 藤	家 I B	T. Dreiser: An American Tragedy
(上 級)	酒 本	文 II A	E. Hemingway: The Short Happy Life of Francis Macomber & Other Stories.(南雲堂 ¥240)
(")	山 田	文 II A	Joseph Conrad(平井基之 註): A Smile of Fortune(開文社) ¥220
(")	野 島	文 II B	E. Fromm: The Heart of Man (南雲堂) ¥240
(")	奥	文 II B	未 定
(")	木 原	理 II A	Hugh Walpole, The Silver Thorn(成美堂) ¥200
(")	酒 本	理 II A	T. Bulfinch: King Arthur and His Knights(篠崎書林 ¥320)
(")	首 藤	理 II B	S. I. Hayakawa: Language, Culture, and Art(南雲堂)
(")	石 渡	理 II B	J. Hilton(植田虎雄 註) Good-bye, Mr. Chips ¥220
(")	石 渡	家 II	E. Shanks(東浦義雄 註) My England ¥180
(")	外 山	家 II	Hulme: Speculations(南雲堂)

科 目	教 官	学 年	内 容
英会話作文I	ルイス	全 I	W. L. Clark: Spoken American English Introductory Course (研究社) ¥280
英会話作文II	ルイス	全 II	上に同じ。

ドイツ語

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)		I	文法と演習は毎週それぞれ2時間ずつ通年合計2単位。読本は毎週2時間ずつ通年2単位。各級とも文法、演習、読本合計6時間4単位履修。
(")	志 田	文 I A	文法。教科書 未定。
(")	志 田	文 I A	演習。教科書 未定。
(")	井 原	文 I A	読本。教科書 未定。
(")	杉 本	文 I B	文法。教科書 未定。
(")	横溝政	文 I B	演習。教科書 未定。
(")	志 田	文 I B	読本。志田・宮原：美しいドイツ語(白水社) ¥280
(")	吉 田	理 I A	文法。教科書 未定。
(")	横溝節	理 I A	演習。横溝節男：共通ドイツ語文法および共通ドイツ語読本(東洋出版) ¥ 未定
(")	宮 原	理 I A	読本。教科書 未定。
(")	原 田	理 I B	文法。原田：ドイツ文法概説(南江堂) ¥400
(")	宮 原	理 I B	演習。教科書 未定。
(")	志 田	理 I B	読本。志田・宮原：美しいドイツ語(白水社) ¥280
(")	横溝政	家 I A, B	文法。教科書 未定。
(")	吉 田	家 I A, B	演習。教科書 未定。
(")	横溝節	家 I A	読本。横溝節男：共通ドイツ語文法および共通ドイツ語読本(東洋出版) ¥未定。

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)	杉 本	家 I B	読本。教科書 未定。
(上 級)		II	上級講読は、毎週2時間で通年2単位、各級とも毎週4時間4単位履修。
(上 級)	野 村	文 II A	講読 Klaus Mann: Wendepunkt (同学社) ¥220
(")	小 川	文 II A	講読。未定
(")	上 野	文 II B	講読。未定
(")	杉 本	文 II B	講読。未定
(")	志 田	理 II A	講読。未定
(")	小 川	理 II A	講読。未定
(")	志 田	理 II B	講読。未定
(")	浜 田	理 II B	講読。未定
(")	杉 本	家 II	講読。未定
(")	杉 本	家 II	講読。未定
独文学演習 (高 級)	杉 本	全 III IV	文学演習としては英文学専攻の関連科目、その他の一般学科にとっては従来通り、自由選択科目(いずれも通年2単位)
独 会 話	ギーゼラ ハッシュ	II	プリントを使用して会話をすすめます。 (自由選択科目 通年2単位)

フ ラ ン ス 語

科 目	教 官	学 年	内 容
(初 級)		I	文法と演習は毎週それぞれ2時間ずつ通年合計2単位, 読本は毎週2時間ずつ通年2単位。
(")	中 川	全 I A (文法)	教科書 未定。
(")	田 島	全 I A (演習)	フランス語発音及び文法演習。
(")	岩 崎	全 I A (読本)	フランス語初級講読。いわゆる読本を用いる。テキスト 未定。
(")	中 川	全 I B (文法)	教科書 未定。
(")	田 島	全 I B (演習)	フランス語発音及び文法演習。
(")	小 池	全 I B (読本)	京都大学フランス語教室編:初等フランス語。教本:(白水社) ¥380
(上 級)		II	講読。毎週2時間ずつ通年2単位。
(")	小 池	全 II A	Gérard de Nerval: Sylvie, Souvenirs du Valois (第三巻) ¥300
(")	中 川	全 II A	アンドレ・モロア "未知の女性への手紙" 白水社 ¥240 泉田編
(")	岩 崎	全 II B	19~20世紀の作家のなかから適当な作品をえらんで講読する。テキスト 未定。
(")	中 川	全 II B	レチフ・ド・ラ・ブルトヌ "パリーの夜" 白水社 ¥280 近田編
仏文学演習 (高 級)	中 川	III	アルベール・カミュ "シジフォスの神話" 白水社 ¥300 大久保編

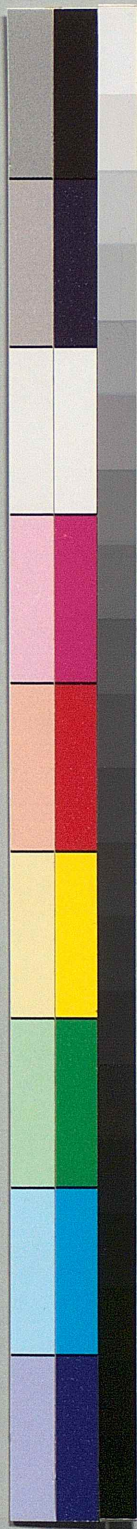
教 職 教 育 科 目

科 目	教 官	学 年	内 容
教育心理	坂 本	III 前	教育心理学の概説。
青年心理	未 定	III 後	
教育原理	吉 田	III 前	教育の目的, 制度, 内容, 方法について概略。
教育指導	宮 田	I II 後	教育指導の歴史。教育指導の領域。教育指導の諸問題。
教育哲学	周 郷	III 前	現代の教育哲学の思潮を浮き彫りにし, それらの問題を「進化のポテンシャル」と現代進化論の文脈の中で検証する。
教育方法	坂 元	III 前	学校教育における教育の方法を論じ, 特に視聴覚的方法に重点を置いて考えていく。
教育史	宮 坂	全	近代の教育における基本的諸問題を, 教科の成立という具体的な過程に即して明らかにする。『教科の歴史』(明治図書) ¥550 (予定)
教育社会学	河 野	II III 前	教育社会学の意義, その領域と方法, 歴史的展開を概観し, 今日の主要問題を明らかにする。
教育行政	森	II III 後	教育行政における教師の役割を, 現代的諸問題を通じて明らかにし, 学校管理と教育行政の関係を概説する。
道徳教育の研究	宮 田 勝 部 尾 田 周 郷	II III 前	未 定
教科教育法		III	高・中教員希望者のため, 第三年次において各教科毎に講義2単位分を履習し, 第四年次のはじめ「観察参加」として1単位履修。計3単位。

科 目	教 官	学 年	内 容
(社 会)		Ⅲ 前	2分野の共通のテキスト「中学校社会科指導書」および「高等学校社会科学習指導要領」
歴 史	尾 鍋	〃	社会科一般および歴史を取り扱う。
地 理	大和田	〃	中・高校学習指導要領の解説、地図の指導について、および社会科指導の実際上における諸問題について講義をする。なお地形図の手引、読み方、書き方、使い方(武場堂) ¥250, 5万分の1地形図1枚(国土地理院発行)を使用。
(国 語)	斉 藤	Ⅲ 前	国語科教育概説(学芸図書) ¥380 国語科教育の目標、国語教育思潮の史的展望、指導要領の解説、指導方法論。
(英 語)	宮 田	Ⅲ 後	宮田幸一: 実践英語教育法(大修館書店) ¥600
(中 国 語)	中 山	Ⅲ 後	話本の講読。
(保 健 体 育)	林	Ⅲ 前	保健体育科の教育方法に関する基礎理論。 文部省学習指導要領解説の研究。
(保 健)	松 本	Ⅲ 前	保健教育の理論と実際。
(音 楽)	美 田	Ⅲ	小・中・高校の音楽教育における指導法、教材研究を行なう。
(数 学)	近 藤	Ⅲ 後	数学と教育と社会との関連。 数学教育の現状。 高校数学の指導の注意点。 そ の 他
(理 科)	池 本	Ⅲ 後	理科教育の周辺、理科教育の情勢、理科教育の目標と目的、理科教育の方法論、評価、理科教育と教師、理科教育の動向。

科 目	教 官	学 年	内 容
(家 庭)	伊 藤	Ⅲ	家庭教育の変遷、指導目標、教育課程の編成、学習指導の計画、単元の設定および展開、学習指導の方法など。
教 育 実 習		Ⅳ	高校・中学教員のための実習(2単位)、小学校・幼稚園教員のための実習(4単位)。 高校は7月と9月の予定。付属高および学外協力学校で実施。
小学校教材研究 (国 語) (社 会) (算 数) (理 科) (家 庭) (音 楽) (図 工) (体 育)	大 橋 官 地 加 藤 阿久沢 富 平 福 田 萩 原 古 江		小学校教員希望者のための科目。小学校の全教科8科目について、各教科の目標および指導の内容(教材・資料)と方法の研究。文部省: 小学校学習指導要領。
保育内容の研究			幼稚園教員希望者のための科目、児童学科の科目および幼稚園教員養成課程の科目を履習すること。

理 学 部



数 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
集 合 論	高 村	I	記号論理初歩, 集合, 濃度, 写像, 実数論など。
集合論演習	高 村	I	同上の演習。
代 数 学 I	稻 葉	I 前	複素数, 多項式, 有理式, 行列式。
代数学 I 演習	稻 葉	I 前	同上の演習。
幾 何 学 I	小 川	I 後	2次曲線及び2次曲面各論。
幾何学 I 演習	小 川	I 後	同上の演習
微積分学 I	沢 島	I	一変数の微積分の基本事項。弥永・亀谷・田村: 微分積分学 掌華房
微積分学 I 演習	沢 島	I	同上の演習。
統 計 学	魚 返	I 前	一般教育としての統計学。P.G.ホーエル著, 浅井, 村上, 共訳; 初等統計学 ¥620 培風館
代 数 学 II	林 田	II 前	整数, 群の初歩。
代数学 II 演習	林 田 久保内	II 前	同上の演習。
幾 何 学 II	立 花	II 前	行列, ベクトル空間と解析幾何学への応用。
幾何学 II 演習	立 花	II 前	同上の演習。
微積分学 II	伊 関	II	多変数の微積分の基本事項。理工科系一般教育微分・積分教科書。 ¥480 共立出版
微積分学 II 演習	小 山	II	同上の演習。
位 相 空 間 論	亀 谷	II	位相空間の基本的概念。

科 目	教 官	学 年	内 容
位相空間論演習	亀谷 渡	II	位相空間の基本的概念の演習。
関数論 I, II	竜沢	III前後	Cauchy の定理等角写像その他。 能代清：初等関数論。
関数論 I 演習	竜沢 渡	III 前	同上 I の演習。
代 数 学 III	林 田	III 後	群, 環, イデアル, 加群。
代数学 III 演習	林 田 久保内	III 後	同上の演習。
微分方程式論 I	松 田	III 前	微分方程式の初等的解法。
微分方程式論 I 演 習	松 田	III 前	同上の演習。
実 関 数 論	沢 島	III IV	Lebesgue 積分論の入門。亀谷：ルベーク 亀谷：ルベーク積分入門 広川書店。
微分幾何学	高 橋	III IV 前	曲線, 曲面の微分幾何。
代 数 学 B	服 部	III IV 前	群の表現論。
応用解析学	伊 藤	III IV 前	拡散方程式。伊藤清三：偏微分方程式 ¥ 580 培風館。
確 率 論	福 島	III IV 後	組合せ的な確率論及び簡単な確率過程の収束 定理。
数理統計学	魚 返	III IV 後	一般数理統計学の基礎事項。1. 確率, 2. 標本 分布論, 3. 統計的推定, 4. 統計的検定。
数学特殊講義 I	竹 内	III IV 前	確率過程, とくに random walk と Markov chain

科 目	教 官	学 年	内 容
数学特殊講義 II	高 村	III IV 後	ヒルベルト空間, スペクトル分解。
数学特殊講義 III	竹 内	III IV	超関数論入門。 L・シュワルツ：物理数学の方法。岩波書店。
数 学 講 究	全教官	IV	

理学研究科 (数学専攻)

科目	教官	学年	内容
古典解析特論 I	小松	前	リーマン面の概念。
同 II			
同 III			
近代解析特論 I	亀谷 高村	前 前	ヒルベルト空間, スペクトル分解。
同 II			
同 III			
代数学特論 I	三井	前	超越数論の入門。
同 II			
同 III			
幾何学特論 I	小川	後	fiber bundle の理論
同 II			
同 III			
応用数学特論 I	竹内		超関数論入門。 L・シュワルツ: 物理数学の方法。岩波書店
同 II			
同 III			
数学講究	伊松 亀谷 沢島 稲葉 林田 立花 小川 高村 竹内 山小		

物理学科

科目	教官	学年	内容
力学 I	阿阪	I	質点・質点系・剛体の力学。力学の一般原理, 解析力学。原島鮮: 力学 ¥700 裳華房
物理数学演習 I	下瀬 (佐藤温)	I	物理学の学習に必要な微積分, 初等的微分方程式の解法の演習。小松・早川編; 微積分学 朝倉書店 ¥580
力学演習	阿阪 (佐藤浩)	I	力学 I に関する演習。
実験工作法	浜野	I 後	物理実験に必要な種々の工作と基礎的な測定器について説明実習。
力学 II	阿阪	II 前	連続物体の力学, 弾性論, 流体力学。 ◎力学 I
電磁学及び光学 I	浜野	II	静電気, 静磁気及び定常電流, 電気と磁気との関係, 電磁波の諸性質。
物理数学	下瀬	II	関数論及びその物理学に必要な応用分野 (Fourier 級数, 同積分, 常微分方程式への応用, 特殊関数等)
物理学実験 I	坂上 (加藤)	II	基礎量の測定法, 基礎的機械の使用法を習熟体得させると共に, 実験結果の取扱法及び基礎的な実験操作法の練習。
物理学演習 II	下瀬 (佐藤温)	II	物理数学の講義に関連した事項の演習。
原子物理学	田中	II 後	黒体輻射・前期量子論・原子・スペクトル。
物理実験学	坂上	II 後 III 前	実験結果整理法, 基礎量の測定法, 基礎的装置使用法, 実験操作工作法の基礎。

科 目	教 官	学 年	内 容
電磁気学及び光学 II	中 村	III 前	光の波動論的取扱について述べ、さらに光と物質との相互作用を論じる予定である。
熱学及び熱力学	橋 爪	III 前	熱力学の基礎原理とその簡単な応用。気体運動論初歩。
量子力学	石 黒	III	シコレーンカー方程式のマトリックス力学、摂動論、衝突論、場の量子化、摂体論的量子力学。◎(力学I, 電磁気学及び光学I, 物理数学)
気体論及び統計力学	橋 爪	III 後	平衡状態の統計力学の基礎と気体等への応用。◎「熱学及び熱力学」
物理学実験II	阿 阪 田 中	III	物理学実験Iの後をうけて、やや高度な基本的な物理実験を実習する。◎物理学実験I
物理学輪講	清 水	III 後	
量子力学演習	石 黒 (佐藤浩)	III	量子力学の講義と並行して問題を考究。◎物理数学
量子力学演習	品 田	IV 前	量子力学の講義と並行して問題を考究。
電子工学	田 中	III 前	電子管(主として真空管)および回路の基礎。エレクトロニクスの基礎 ¥ 780 裳華房。
数理物理学	石 黒	III 前	特殊関数論, 偏微分方程式, 境界値問題。◎(物理数学)
量子力学	岩 田	IV	ゼツ動の理論, 多体問題, 輻射論, 相対論的波動方程式。
原子核物理学	藤 井	IV 前	

科 目	教 官	学 年	内 容
量子力学特論	清 水	IV 後	
物 性 論		IV 前	
原子核特論		IV 後	
特 別 研 究	全教官	IV	
基礎物理学実験	浜 野	I 化生	
天 文 学	藤 田	III IV 後	天文学一般, 特に太陽系及び銀河系について。
地 球 物 理 学	高 野	III IV 後	地球物理学の中の主に地震学について。
気 象 学	竹 内	III IV 前	気象学全般にわたるが, 特にわれわれの生活に関係の深い地面付近の気象に重点をおく。
超高層物理学	石 井	III IV 前	成層圏上部から磁気圏に至る空間及び惑星空間の物理。

理学研究科(物理学専攻)

科 目	教 官	学 年	内 容
流体力学特論 I	阿 阪	後	
流 体 力 学 II			
相 对 論			
数理物理学特論			
計測学特論 I	坂 上	後	
計測学特論 II			
電磁気学特論			
量子エレクトロニクス			
分子物理学 I			
分子物理学 II	石 黒	後	
分子物理学 III			
統計力学特論	橋 爪	前	総型不可逆過程の統計力学及びグリーン関数の方法。
半 導 体 論			
素粒子論 I	下 瀬	前	
素粒子論 II			
核物理学 I	岩 田	前	
核物理学 II			
固体物理学 I			

科 目	教 官	学 年	内 容
固体物理学 II	田 中	後	
固体物理学 III			
磁性体論			
低温物理学			
物理学特別講義 I			
同 II			
同 III			
同 IV			
同 V	清 水	後	
特別研究	阿 阪 坂 上 石 黒 清 水 下 瀬 岩 田 伊 橋 藤 爪 田 中		

化 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
基本化学実験	岡 嶋	I 前	化学の基礎となる実験。仁田勇編：一般化学 一般化学実験 ¥580 共立社
物理化学 I	立 花	II	化学熱力学の基礎原理とそれによる物質系の 相平衡および化学平衡の解析。教科書 未定。 ◎〔基礎化学 I 基礎物理学 A, B, C, D〕
有機化学 I	塩 田	II	総論と鎖状化合物の化学, R. Q. Brewster, Organic Chemistry (日本アレンチスホール)
無機分析化学 実 験	中 西	I 後 II 前	主として無機物質を取扱う諸操作と基本的化 学分析法。
分析化学 I	中 西	II 前	分析化学一般の基礎的事項。◎〔基礎化学 I〕
分析化学 II	中 西	II 後	定量分析および簡単な機器分析。 ◎〔分析化学 I〕
生物化学 I	阿 武	II 後 III 前	炭水化物、脂質及び核酸の化学と代謝。 ◎〔有機化学 I〕
物理化学 II	佐 野	III	化学統計力学を中心とした固体・液体・気体 の基礎理論。参考書はムーア：新物理化学
物理化学実験	立 花 佐 野	III 前	物理化学の実習実験、鮫島実三郎：物理化学 実験法 裳華房 ◎〔物理化学 I, 基礎物理 学実験〕
有機化学 II	塩 田 前 田	III	環状化合物の化学、有機化学 I のつづき。
有機化学実験	塩 田 前 田	III	合成と定性分析。
無機化学 I	〔未定〕	III	元素および無機化合物の構造、結合ならびに 物性。 ◎〔基礎化学 I〕

科 目	教 官	学 年	内 容
機 器 分 析	中 西	III 前	機器実験の諸操作に関する解説。
生物化学 II	瀬 野	III	アミノ酸、タンパク質の化学と機能及び酵素 概説。
生物物理化学	野 田	III 後	蛋白質と核酸の物質構造と生物的機能の関 係とその研究法。B. マーチン、野田訳、生物 物理化学 ¥1,300 東京化学同人
量 子 化 学	田中郁	III IV 前	量子力学を用いて化学結合の問題、特に安定 性、反応性の問題を主として修得させる。参 考書は講義の際に述べる。
構 造 化 学	未 定	III 後	分子構造および分子の電子状態に関する講義。
生 体 反 応 論	吉 川	III 後	細胞の化学よりはじめ、糖質、脂質、蛋白質、 核酸等の生体内での化学変化過程、その生物 の機能における意義を講述する。
有機化学反応論	〔未定〕	III 後	
生物化学実験	阿 武 瀬 野	IV 前	炭水化物、タンパク質、脂質、核酸及び酵素 についての基礎的実験。
特 別 研 究	全教官	IV	
化 学 演 習	全教官	IV	
基礎化学実験	岡 嶋	I 物生	化学の基礎となる実験。仁田勇編：一般化学 実験 ¥580 共立社

理学研究科（化学専攻）

科目	教官	学年	内容
物性物理化学			
反応物理化学			
構造物理化学	坪村		
物理化学特論	佐野		
物理化学演習	立花 佐野		物理化学の論文をもとにした演習
無機化学特論 I			
無機化学特論 II			
無機化学特論 III			
無機構造化学			
無機化学演習			
天然物有機化学	塩田		
有機合成化学			
有機化学特論 I	塩田 岡嶋		
有機化学特論 II			
有機化学演習	塩田 岡嶋 前田		
生物化学特論 I	瀬野		
生物化学特論 II	阿武		

科目	教官	学年	内容
生物化学特論 III			
物質代謝特論			
生物化学演習	阿武 瀬野		
分析化学特論 I			
分析化学特論 II			
分析化学特論 III			
機器分析特論			
分析化学演習			
特別研究	立花 佐野 塩田 岡嶋 前田 阿武 瀬野 中西		

生 物 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
動物形態学 特別講義 I	藤 田	I 前	動物の系統的分類 (I 無脊椎動物) プリ ント使用。
動物形態学 特別講義 II	藤 田	I 後	動物の系統的分類 (II 原索動物・脊椎動物) プリント使用。
動物系統学実習	団	I 前	
植物系統学	津 山	I 前	主要な群について、その形態を学び、系統上 の位置づけ。
植物系統学実習	津 山	I 前	主要群の栄養及び生殖に関する器管の構造。
植物学野外実習	津 山	I ~ IV	
基本生物学実習	太 田	I 後	生物学の基礎となる実験操作。
動物学臨海実習	米 田	II 前	海産無脊椎動物の体制についての系統的な観 察。
植物学臨海実習	津 山	II 前	海産植物の主要群の構造をしらべ、系統を知 る。
細胞生物学 I	米 田	II 後	細胞の構造、細胞の機能の生理学的側面。
細胞生物学 I 実習	米 田	II 後	細胞の構造と機能についての生理学的または 物理化学的実習。
動物生理学 I	柳 田	II 後	入門コース。各個別の生理機能および特に生 理協同機作につき、一般生理学的な基本原理 から比較生理学的多様性への発展を展望する。

科 目	教 官	学 年	内 容
植物生理学 I	清 水	II 前	
植物生理学 I 実 習	清 水	II 前	
遺 伝 学 総 論	新 関	II 後	遺伝の現象及び理論についての基礎的説明。
遺伝学総論実習	新 関	II 後	染色体観察法、交配技術などを主とした実験。
発 生 学 I	団	III 前	動物の生殖、発生に関する諸問題を綜的に 解説する。碓井益雄：図説生物実習体系 (動 物の発生) ¥ 550 地球出版。
発生学 I 実習	団	III 後	脊椎動物および無脊椎動物を材料とした正常 発生の観察。
発生学臨海実習	団	III 後	臨海実験所において、海産無脊椎動物を材料 として発生の観察や実験を行う。
発 生 学 II	団	III 後	脊椎動物、無脊椎動物にわたり、正常発生の 各現象につき解説する。
動物生理学 II	柳 田	III 前	同 I の続講。生理協同機作の要素としての生 理的引き金機構に着眼、その種々相 (実行器・ 受容器・神経) を概観し、他方基礎過程の 解析を試みる。
動物生理学 I 実 習	柳 田	III 前	毎週 1 題ずつ比較的簡単な練習研究課題を割 り当て、生理学的な研究様式と基本手技との 心得を体得させる。
植物系統学 II	津 山	III 前	個体発生と系統との関連、種の進化の問題な ど。

科 目	教 官	学 年	内 容
植物生理学Ⅱ	塚 本	Ⅲ 前	
園 芸 学	浅 山	前	花卉を主として園芸植物の栽培, 管理, 利用法を解説する。時に応じ実習を行うことがある。2単位
細胞生物学Ⅱ	太 田	Ⅲ 前	蛋白質・核酸についての概論, 細胞の構造と機能の関連について。 (基礎植物学Ⅱ 理・家と併用)
細胞生物学Ⅱ 実 習	太 田	Ⅲ 前	細胞の構造と機能を調べる実験。
遺 伝 学 各 論	岡	Ⅲ 後	遺伝に関する基礎的なものと先端的なもの。
育 種 学	岡	Ⅲ 後	
動物生理学Ⅱ 実 習	柳 田	Ⅲ 後	同Ⅰの実習につづき, 実施様式はⅠに準ずる。一段と高次の構成をもつ主題を選び, <i>かたがら</i> 観察結果の数理的取扱いの体験を心がけたい。
植物生理学Ⅱ 実 習	塚 本	Ⅲ 後	
植物生理学Ⅲ	塚 本	Ⅲ 後	
動物生理化学Ⅰ 実 習	荒 木	Ⅲ 後	生理化学の基本的実験
人 類 遺 伝 学	大 倉	Ⅳ 前	人類遺伝学の基礎と応用。

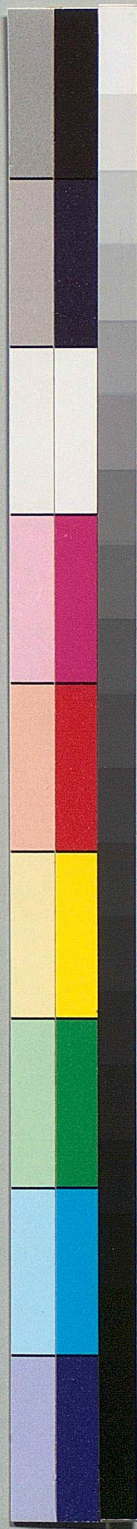
科 目	教 官	学 年	内 容
動物心理学	丘	ⅢⅣ前	動物心理学の歴史, 方法を述べ, 行動の分類ならびにそれらの行動についての研究結果につき概説する。
動物生態学	浦 本	ⅢⅣ後	個体群生態学を中心として動物生態学を概説する。種個体群の維持メカニズム及びその集合としての群集。(動物の社会と行動の問題は除く。)
植物組織学	井 上	ⅢⅣ後	管束植物の栄養器官の内部構造を, 主として比較解剖学的に講述する。
植物生態学	佐 伯	ⅢⅣ後	
細胞遺伝学	新 関	Ⅲ 後	
遺伝学各論実習	岡	Ⅳ 前	
優 生 学	岡	Ⅳ 前	人間における遺伝とその関連における諸問題, 特に民族衛生学。
動物生理学 臨海実習	柳 田	Ⅳ 前	各種の海産動物を材料とする機能解剖学的ないし比較または一般生理学的観察や練習実験。一連の小主題からなるプログラム。
生物学演習	全教官	Ⅳ	
特別研究	全教官	Ⅳ	
基礎生物学実験	団	Ⅰ物化	生物学の基礎実験法, 実験技術。

理学研究科(生物学専攻)

科 目	教 官	学 年	内 容
動物系統学特論			
動物発生学特論	団		
動物生理学特論	柳 田		適当な文献資料を選び、セミナー形式により実施したい。多少とも特殊な主題の検討を通じて、生理学全般への見通しの再強化を心がける。
動物生理化学特論	荒 木		
植物系統学特論	津 山		
細胞生物学特論 I	米 田		
細胞生物学特論 II			
植物生理学特論			
酵素化学	塚 本		適当な教科書又は論文を使う。
遺伝学特論			
細胞遺伝学特論			
微生物生理学			
生態学特論			

科 目	教 官	学 年	内 容
放射線生物学 特 論			
特 別 研 究	荒 木 柳 田 米 田 団 津 山 塚 本 清水 岡 関 新 関		

文 教 育 学 部



哲 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
哲 学 概 論	茅 野	Ⅲ・Ⅳ	哲学の根本問題
倫 理 学 概 論	勝 部	Ⅱ	現代を変動期として捉え、その問題状況と倫理理論の諸類型をあぐ。マルクシズム、精神分析学派、英米の諸説、テキスト「変動期の倫理理論」
美 学 概 論	杉 野	Ⅱ・Ⅲ	
社会哲学概論	井 上	Ⅲ・Ⅳ	隔年講義。
論 理 学	石 塚	Ⅰ	形式論理学。
哲学特講Ⅰ (中国哲学史)	宇 野	Ⅱ・Ⅲ	東大中国哲学科研究室編：中国思想史 (東大出版会) ¥400(?)
哲学特講Ⅱその1 (近世哲学史)	石 塚	Ⅱ	デカルトからヘーゲル哲学崩壊まで。
哲学特講Ⅱその2 (十九世紀の哲学)	藤 田	Ⅱ	ヘーゲル哲学解体以後19世紀半のドイツ哲学、シェリング後期の哲学からキルケゴール、ショーペンハウアー、ブルクハルト、ニイチェに至る。 参考書：藤田著「近代哲学原理の崩壊と再建」
哲学特講Ⅲ (現代哲学)	藤 田	Ⅲ	20世紀初頭から現在に到る主要なる哲学思想を取上げ、その本質と帰趨を明らかにする。
哲学演習	茅 野	Ⅲ・Ⅳ	現代現象学入門 E. Husserl: Philosophie als strenge Wissenschaft
哲学史演習	石 塚	Ⅲ・Ⅳ	Kant: Kritik der reinen Vernunft (前年度の続き)

科 目	教 官	学 年	内 容
倫理学特講Ⅰ (日本倫理思想史概説)	勝 部	Ⅲ	日本倫理思想の流れを6つにわけて概説する。テキスト「日本思想の構造」(至文堂)
倫理学特講Ⅱ (キリスト教)	秋 田	Ⅲ・Ⅳ	キリスト教の根本思想を聖書に即して明らかにすると共に、その現代的意義を考える。
倫理学特講Ⅲ その1 (西洋倫理思想史)	尾 田	Ⅰ・Ⅱ	古代から中世を経て近代にいたる西洋倫理思想の流れを、現代という観点から概観する。
倫理学特講Ⅲ その2 (弁証法の諸問題)	城 塚	Ⅲ・Ⅳ	サルトルの『弁証法的理性批判』を批判的に検討し、社会的・歴史的存在としての人間の自覚と実践を貫く弁証法のあり方を究明する。
倫理学演習	尾 田	Ⅱ・Ⅲ	価値倫理学の問題。テキストDietrich von Hildebrand: <i>Sitteiche Grundhaltungen</i> .
倫理思想史演習	勝 部	Ⅲ・Ⅳ	日本倫理思想史のうち、本年度は明治時代を扱う。テキストは文庫本にて福沢「学問のすすめ」「福翁自伝」「自由党史」など。
美学特講Ⅰ (美術史特講)	柳	Ⅱ～Ⅳ	西洋の中世絵画を、キリスト教理念と関連づけながら、図像学的、技法的、様式的に解明する。
美学特講Ⅱ	未 定		
美学特講Ⅲ (法隆寺問題特講)	町 田	Ⅱ～Ⅳ	法隆寺の美術遺品を中心に法隆寺草創期の諸問題について。
美学演習	未 定	Ⅱ・Ⅲ	
美術史演習	柳	Ⅲ・Ⅳ	Focillon "Vie des formes" (仏文) など、芸術論の原典講読。必要に応じ、英文又は独文のテキストをも使用。
社会学特講 (社会調査)	園 田	Ⅱ～Ⅳ	理論と調査、社会科学方法論、社会調査の技法および実際についての講義を行ない、それと並行して適宜地域の実態調査をも実施する予定。
社会学演習	未 定		

史 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
史学概論	尾 鍋	Ⅱ	Henry S. Commager, <i>The Study of History</i> . 古代・中世の予定。
日本史概説	青 木	Ⅰ	
日本史史料講読	中村一	Ⅱ	「折焚く柴の記」(岩波文庫)の講読を通して、江戸中期の政治・社会の動向を考察する。
日本史特講A	中村一	Ⅲ・Ⅳ	未 定
日本史特講B	青 木	Ⅲ・Ⅳ	平安時代史。今年度は平安前期の諸問題。
日本史特講C (日本近世思想史)	尾 藤	Ⅲ・Ⅳ	伊藤仁斎と荻生徂徠の思想、ならびに徂徠の影響下に成立した後期水戸学を中心に、日本化した儒教の特色と、その社会的背景を考察する。
日本史特講C	石 井	Ⅲ・Ⅳ	
日本史演習A	大 口	Ⅲ	「宇下入言」の輪読(予定)
日本史演習B	青 木	Ⅲ・Ⅳ	令義解・日本書紀・続日本紀・日本後紀のうち入手可能な一冊をテキストとする予定。
東洋史概説	市 古	Ⅰ 前	中国史の概説
東洋史概説	和 田	Ⅰ 後	主として、インド・東南アジア史の範囲で概説。
東洋史史料講読	和 田	Ⅱ 前	黄巢伝(『新唐書』巻225下)。
東洋史史料講読	市 古	Ⅱ 後	『戊戌政変記』
東洋史特講A	市 古	Ⅲ・Ⅳ	中国共産党史を概観し、特に、1927～1937における党中央と毛沢東との関係を考える。
東料史特講B	和 田	Ⅲ・Ⅳ	東南アジア史上の諸問題。
東洋史特講C	草 野	Ⅲ・Ⅳ	宋代の農業土地問題に関する諸資料を検討して、所謂大土地所有・佃戸制の実相の究明を試みる。
東洋史演習A	市 古	Ⅲ・Ⅳ	最近100年の中国で活躍した人々が、青少年時代をどのようにすごして来たかを調べる。

科 目	教 官	学 年	内 容
東洋史演習B	和 田	Ⅲ・Ⅳ	Wang Gungwu: The Nanhai Trade, JMBRAS, XXXI をテキストとして引用史料にあたり、唐朝を中心とする国際関係を検討する。
西洋史概説	中村英	I	西洋史の各時代についての研究史的概観を中心として概説し、今年度は近世に重点をおく。
西洋史史料講読	尾 鍋	II	Louis L. Snyder, The Imperialism Reader. Document and Readings on Modern Expansionism.
西洋史特講A	尾 鍋	Ⅲ・Ⅳ	帝国主義論の歴史と現状を取り扱う。 Tom Kemp, Theories of Imperialism. 1967, Dennis Dobson.
西洋史特講B (米 国 史)	中 屋	Ⅲ・Ⅳ前	中屋健一：新大陸と太平洋（中央公論社） ¥500 植民地時代より南北戦争までのアメリカ合衆国史概説。
西洋史特講C	鹿 毛	Ⅲ・Ⅳ	19世紀の国民運動、両世界大戦、ナチズムなどの問題を中心に近・現代史上のナショナリズムの意義を考察する。
西洋史演習A	尾 鍋	Ⅲ・Ⅳ	帝国主義論と帝国主義政策に関する史料について。
西洋史演習B	中村英	III	19世紀イギリスの政治・社会・経済の諸問題について、種々の論文・文献・史料を割り当て講読する。
古文書学 史 蹟 調 査	大 口 中村一	III III	近世古文書の解説。 奈良・京都方面の史蹟巡検、東京および近郊の史蹟・史料の調査、近景農村の史料探訪等から適当なものを選んで実施する予定。
考古学通論 (日本考古学)	甘 粕	Ⅲ・Ⅳ	南武蔵を対象とする地域研究の具体例を通じて日本考古学の当面する諸問題を検討する。 テキスト：横浜市史原始。古代編（リコピー）

地 理 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
地理学概論	渡 辺	Ⅳ	地理学本質論と地理学発達史。
日本地誌 I	渡 辺	III	日本の地形、気候、現況の歴史的背景の概観と、日本各地方の地誌的考察。 聴講は地形学、気候学の学習を前提とする。
経済地理学	松 井	III	日本及び世界の農業経済地理。
外国地誌 III	松 井	Ⅲ・Ⅳ	ソビエト連邦の地誌、気候学 I 及び地形学の修了者のみ。
日本地誌 II	松 井	Ⅲ・Ⅳ前	日本の農業地域。
植物地理学	松 井	Ⅲ・Ⅳ前	自然地域の構成要素としての植生。気候学 I の修了者のみ。
地理学特講	松 井	III 前	那須野盆地の地誌。
気 候 学 I	浅 井	I	下記テキストと実習・巡検により気候の理論と気候法を広く深く講じる。 福井英一郎著気候学概論（朝倉書店）¥650
陸水・海洋学	浅 井	Ⅲ・Ⅳ後	海水・熱・物質の移動と海洋法。湖沼・人口湖・河川・地下水の理論とこれらの陸水誌。いづれも人間生活、人文地理学との連関において講じる。
外国地誌 I	浅 井	II	ヨーロッパの自然・社会・歴史を有機的に考察し、地域区分を行ってその地域差も明らかにする。スライド・プリントを多く利用する。
自然地理学実験	浅 井	III 前	小気候学・気候統計・地下水学・湖沼学などに関して観測・実習・整理・記載の方法を器械を用いて具体的に野外をも含めて指導する。
地 質 学 I	浅 海	II	岩石・鉱物・構造地質・地史の概論。 地質図の読図と調査法をふくむ。
土 壤 学	浅 海	III 前	土壌の生成論と分類法、および世界・日本における土壌地理学的考察。
自然地理学実験	浅 海	III	フィールドにおける地形、土壌などの自然地理学的調査研究法、および採集土壌の室内分析実験。
地理学演習II (独書講読)	浅 海	III	地理学の基礎的古典文献、および最近の地理学術雑誌の論文から数種を選び、論読と解説。
地 形 学	式	II	侵蝕地形、堆積地形、地形輪廻、構造地形、地形発達史、地形分類に関する基礎的理論など。

科 目	教 官	学 年	内 容
地図学演習	式	II	地形図の作成, 地形図を利用する各種計測・地形判読。地形学図, 地理図の説明及び実習。
写真地理学	式	III 後	空中写真, 写真測量の基礎知識及び空中写真判読の方法と実例の解説。多少の実習を伴なう。
集落地理学	正井	III 前	集落の自然環境・発生過程・文化条件・形態・機能に関する講義。
地理学演習I (英書講読)	正井	II	地理学全般に関する英語学術書の読解力の養成。Preston E. James: A Geography of Man.
地理調査法	正井	III 後	地理学の野外・文献調査に関する基本的技術・知識の養成。野外実習も行なう。
都市地理学	正井	III 後	日本および世界の諸都市の自然環境・形態・機能・発達過程の地域的差異に関する講義。
地理学演習III	全教官	III・IV	外国の論文の紹介及び卒業論文の報告など全教官による指導。
歴史地理学	別技	III・IV 前	はじめに歴史地理学の意義を述べ, ついで日本, 東洋, 西洋の諸地域に例をとりながら, 歴史地理学の種々な問題を講述する。
地理学特講 (工業地理)	幸田	III 前	地域論—経済地域論—工業地域論としぼっていく。工業地域論では立地論を概説し, 工業の地域構造をつとめて実証的に論述したい。
交通地理学	有末	III 後	交通地理学の概要と, 最近における交通問題の展望およびその対策。 有末武夫: 交通地理学 (明玄書房) ¥680
気候学 II	福井	III 前	日本の気候について, 最初に全般的の諸考察を行った後に, 各地域に分けて, それぞれについて諸特性その他を講述する。
地図学	岡崎	I 前	地図の発達の歴史と地図に関する基本的知識及び読図。地図投影法とその簡単な幾何学的作図。

文学部 国文学国語学校専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
上古・中古日本文学史	次田	I	大和時代から平安時代までの国文学の発生と発展について概説する。
近古日本文学史	井本	III	近古時代の国文学史の概説。
近世日本文学史	堤	III・IV	日本近世文学の史的展開を概観する。
国語学概論	江湖山	I	
国語法概説	市川	III	日本文法の概説。
近代日本文学史	高田	III・IV	私小説論
国文学講義講読 (上古)	次田	II	万葉集巻1・巻2・巻3の講義講読。テキスト—日本古典文学大系「万葉集」(一)(岩波書店)
国文学講義講読 (中古)	阿部	II	源氏物語—若菜上・下—(テキストは特に指定しない。)
国文学講義講読 (近古)	森本	I	新古今和歌集とその周辺。 作品を読み, 作者・成立に関する諸問題について考察する。テキストは校訂新古今和歌集(武蔵野書院) ¥450
国文学特殊講義 (近世)	大久保	III・IV	近松門左衛門作世話浄瑠璃について講述する。まずその母胎を考察し, その上で心中物・姦通物・犯罪物及び諸物件等に分類して攻究する。
国文学演習 (上古)	次田	III・IV	古事記上巻についての演習。テキスト—日本古典文学大系「古事記・祝詞」(岩波書店)
国文学演習 (中古)	関根	III	中古和歌に関する演習で, 勅撰集と私家集を対象とする。(金葉集及び大斎院の御集を扱う予定)
国文学演習 (近古・近世)	井本	II	中世の文学作品をテキストにして, 中世・近世の古典を読む練習を主とする。
国文学演習 (近世)	堤	III	近世小説をテキストとした演習。
国文学特殊講義 (中古)	石田	III・IV	中古文学の特性について。
国文学特講 (近世)	堤	III・IV	日本近世小説史論。
国文学特講 (近代自然主義・反自然主義の評論)	田中	III・IV	講述。教科書不要。参考資料・河出書房「現代文学論大系」第2巻。目的・明治大正期の文学理念究明に資するため。
国文学特講	未定	III・IV	

科 目	教 官	学 年	内 容
国語表現法 国語学演習 (その1)	市川 江湖山	I・II III	文章表現の理論と実際。 万葉集から問題を取上げる。
国語学演習 (その2)	市川	II	平家物語(統講)。
国語学特講 (その1)	江湖山	III・IV	上代特殊仮名遣研究史の継続講義。

文 学 科 中国文学中国語学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
1 中国文学概説	中 山	I	隔年・本年欠講 中国語の入門。テキスト、老舎“短篇小説選” ¥340
2 中国文学講読			
3 中国語学講読	類	I	「論語集註」上・下冊とも(流通会刊)。
4 中国文学史	戸川	I・II	六朝より唐に及ぶ(国文用)
5 中国文学講読	戸川	II	現代文学作品(老舎など)。
6 中国語学講読	類	II	范成大「呉船録」(使用版本おいて指示する)
7 中国文学演習	渡 辺	III	未 定
8 中国文学講読	中 山	III 前	琵琶記の講読。
9 中国語学演習	山 井	III	高等学校の漢文教科書を材料に使い、読みなれた基本的な古典について、単語の意味・句法の原則・詩文の構造などを、改めて精密に検討する。
10 中国文学演習	渡 辺	IV	未 定
11 中国文学演習	黎 波	IV	老舎：龍鬚溝
12 中国語学演習	類	IV	董同龢「中国語音史」使用(¥500)
13 中国文学講読	中 山	I	中国語の入門。テキスト“中国現代文選” ¥250
14 中国文学特講	中 山	I	中国語の入門のテキスト“標準中国語” ¥250
15 中国文学講読	戸川		隔年。来年度開講
16 中国文学特講 (講読)	中 山	II	儒林外史と江樓夢の味読。
17 中国哲学概説	小 林	III	周易の理法の解明を中心として中国古来の哲学の基本課題と、その論理の展開の様相とを追求する。教材は、プリントを配布する。
18 中国語学概説	類	III	ノートによる。
19 中国文学特講	戸川	III	班固：漢書の列伝の部分を顔師古の注を通して読解。
20 中国文学特講	黎 波	III	魯迅：呐喊

科 目	教 官	学 年	内 容
21 中国文学特講	戸 川	Ⅳ	『漢書・劉向伝』あわせて漢語文学の訓詁法に及ぶ。

文 学 科 英文学英語学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
英文学演習Ⅰ	鍋 島	Ⅰ	イギリスのロマン派の詩を中心として英米詩の基礎問題を扱おう。(用書)上島:ロマン派詩選(研究社・小英文双書231¥280)
英文学演習Ⅱ	伊 吹	Ⅰ	英国短篇小説講読。E. Waugh, Henry James, R. L. Stevenson等の作品。
英文学演習Ⅲ	鍋 島	Ⅱ	英米の演劇の理論とそれの適用を例証する。(用書)Wilde:Salome(研究社・小英文双書¥130) T. Williams:The Glass Menagerie(英宝社¥320)
英文学演習Ⅳ	野 島	Ⅱ	E. Tillyard & C. S. Lewis:The Personal Heresy-a Controversy(大学社)¥580
英文学演習Ⅴ	伊 吹	Ⅲ	英国小説の発展をみる。テキストとしてDaniel Defoe:Moll Flanders(モダンライブラリ, カレッチ版)を読む。
英文学演習Ⅵ	外 出	Ⅲ	Shakespeare:Merchant of Venice(岩崎民平注, 研究社小英文双書)
英文学演習Ⅶ	鍋 島	Ⅳ	19世紀イギリスにおける批評の方法を精読する。(用書)English Critical Essays(XIXC. World's Classics ¥500位)
英文字演習Ⅷ	酒 本	Ⅳ	E. A. Poe:Prose Tales(研究社, ¥550)
英語学概論	木 原	Ⅲ	Potter, Our Language(Pelican Books)
英文学史Ⅰ	外 山	Ⅱ	B. Ifor Evans:A Short History of English Literature(Pelican)
英文学史Ⅱ	野 島	Ⅲ・Ⅳ	エリザベス朝文学史(特にシェイクスピアを中心にして)
英文法演習	木 原	Ⅰ	小西友七, 実用高等英文法(英宝社)¥500
英作文演習Ⅰ	長谷川	Ⅰ	英語でものを考え表現する習慣をつけたい。Basic Patterns for Current English Writing(南雲堂) Ivan Benson:English Grammar Workbook(北星堂)
英作文演習Ⅱ	ルイス	Ⅱ	テキストなし

科 目	教 官	学 年	内 容
英作文演習Ⅲ	長谷川	Ⅲ	前期では日英表現の比較の研究。後期では卒論にそなえて英語論文の書き方を学びたい。 A Key to English Writing (南雲堂) W.R.パーカー: MLA論文の手引(北星堂)
英語音声学	宮田	I 前	理論—講義草稿による。 実際—木村恒夫: Improve Your English Pronunciation (開拓社) ¥250
アメリカ文学史	酒本	Ⅲ	ブランチャーズ『アメリカ文学史』(八潮出版社, ¥680)
英文学特講Ⅰ	外山	Ⅲ・Ⅳ	十九世紀イギリス研究。文学と社会の問題を各方面から考察する。
英文字特講Ⅱ (アメリカ現代詩)	新倉	Ⅲ・Ⅳ	Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens の三人を取りあげる予定。最初のテキストは新倉注釈「ディキンソン詩選」(研究社) ¥260
英文学特講Ⅲ	大沢正	Ⅲ・Ⅳ	T.S.Eliot: Introducing James Joyce (FABER)
英語学特講Ⅰ	木原	Ⅲ・Ⅳ	Sledd, A Short Introduction to Grammar (丸善リプリント) ¥750
英会話演習Ⅰ	ルイス	I	Newmark, Mintz and Hinely: Using American English (ウェザヒル) ¥680
英会話演習Ⅱ	ルイス	II	Gran Taylor: Mastering American English (好学社) ¥440

教育学科 教育学専攻

科 目	教 官	学 年	内 容
教育学概論	吉田	I	教育の目的・制度・内容・方法にわたる教育学研究のための入門。
教育史概説	宮坂	I	日本および西洋の教育について、その概略を理解するとともに、教育を歴史的にみる目をつちかうようにしたい。
教育社会学概論	河野	II	教育社会学の意義、その領域と方法、歴史的展開を概観し、今日の主要問題を明らかにする。
学校教育学概論	宮田	II 前	教育と学校教育(学校教育の機能)。学校教育の変遷。学校教育の基本思想。
学校教育学概論	森	II 後	学校制度論。組織体としての学校の結合関係—学校制度を外国と比較しながら検討する。
教育心理学概論	小口	I・II	学校教育だけでなく、家庭教育、社会教育もふくめる。(1)学習の問題 (2)発達の問題 (3)集団の問題
発達心理学概論	波多野	I	一年生のための入門講義。高校では心理学はおこなわれていないので、その性格、研究法、アプローチの態度などにつきやさしくのべる。
教育学演習	周郷	Ⅲ・Ⅳ	日本人「教育思想」の過去、現在、将来についての検討。日本教育史をひろげて再解釈を試みる。
教育史特講	宮坂	Ⅲ・Ⅳ	近代日本の社会教育の特質について、西欧の成人教育と対比しつつ、歴史的に分析する。
教育史演習	宮坂	Ⅲ・Ⅳ	「知識」と「態度」の変容を統一的におしすすめめる教育実践の努力を歴史的に追求することで、国民主体形成の教育的論理をみいだしたい。
教育社会学特講	河野	Ⅲ・Ⅳ	教師の研究。戦後これまでの教師に関する研究、調査を総括し、現代教師のあり方をさぐる。
教育社会学演習	河野	Ⅲ・Ⅳ	「教育変動における社会経済的要因」について考究する。このテーマに関する基礎的文獻・論文の講説を主にする。
教育行政学	森	II 前	学校管理論を中心に、現代教育行政の意義を、具体的な今日の教育行政上の諸問題を通じて、概説する。

科 目	教 官	学 年	内 容
教育行政学演習	森	Ⅲ・Ⅳ	教育の国際化と教育行政。愛国心国防教育論議のなかで、国際的視野にたって、東西、南北教育問題を教育計画の観点から分析する。
教育方法学	吉田	Ⅲ・Ⅳ前	教育方法の研究の動向と実際の授業に関する分析研究の展開。
教育経営学概論	宮田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ前	学級経営論の系譜。学校づくり論の系譜。集団経営と教室経営。
教育経営学演習	宮田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	学級づくり論の研究。小集団の研究。ソシオメトリーの研究。
教育内容特講	柴田	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ前	教科内容編成の基本原則（教科内容現代化の理論）
教育内容特講 教育心理学特講	未定 波多野	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後 Ⅲ・Ⅳ	ピアジェの認識心理学のうち、事物および、時間、空間、因果などの概念の発達につき研究する。フラベルの著書による。同書用意のこと。J. H. Flavell: The Developmental Psychology of Jean Piaget (海外出版) ¥3,250
教育心理学演習	小口	Ⅲ・Ⅳ	(1) 学習心理学の領域からテーマの選択 (2) 文献研究 (3) 研究計画
視聴覚教育	坂本	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後	視聴覚教育の理論および方法など、そのbaseとなるものについて概説。テキスト：視聴覚教育：大日本図書。
視聴覚教育 視聴覚教育演習	中野 坂本	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後 Ⅲ・Ⅳ	視聴覚教育の技術研究、原書講読。現場研究など資料に関する総合的演習。
教育測定学	芝	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	教育の過程における評価の役割りを明らかにし、評価に必要な測定の技術について学ぶ。
教育哲学特講	周郷	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	Teilhard-Huxley の進化論的人間論（自然人類学）の講解—Simone Weil の思想と併せて、教育の“motif”と“perspective”とを明らかにする。
社会心理学	坂元	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ後	社会的な心理現象としてのマスコミュニケーションの特質やその影響について考察する。クラッパー：マスコミュニケーションの効果
実験心理学	藤永	Ⅱ～Ⅳ	狭義の実験心理学と呼ばれてきた分野の発展のあとを問題史的に検討し、あわせて、これと対立する人格心理学その他との異同を論じたい。

科 目	教 官	学 年	内 容
実験心理学演習	藤永	Ⅲ・Ⅳ	前期には、簡単な実験、テスト、文献批判などを中心として、いわゆる実験的方法について学ぶ。後期は実験の計画、実施、整理の実習を行う。
臨床心理学	内山	Ⅱ・Ⅲ	臨床心理学における心理診断、心理治療の概要を紹介し、あわせて具体的臨床的諸技法の習熟をはかる。（テキストは用いない。）
応用心理学	永野	Ⅲ・Ⅳ	最近の言語心理学の解説、ならびに教授・学習過程における言語と思考の問題の分析。
社会教育論	波多野	Ⅲ・Ⅳ	社会教育の最近の発展、とくにその Education Permanente への展開を、ユネスコにおける努力と関連しつつのべる。
教育行政学特講	森	Ⅲ・Ⅳ後	現代公教育の再編、変革を国際的視野のもとに検討する。なかばゼミ形式をとる。
女子教育	一番ヶ瀬	Ⅱ・Ⅲ後	現代における婦人問題との関連で、女子教育の意味、動向についての考察を行う。

教育学科 体育学専攻

科 目	教 官 学 年	内 容
体育学原論	林 III	体育学以前の問題と体育の原理, 体育に必要な諸科学の関連について講述する。
体育学演習	林 IV	体育における人間形成論: 体育原理研究会編(不昧堂) ¥500 Bucher, C. A.: Foundations of Physical Education の講読。
日本体育史	林 II 後	近世日本体育発達史。 —主として学校体育について—
西洋体育史	林 II 前	欧米体育史について。
体育心理学	石山 III	体育心理学の成立・課題・対象。
体育心理学実験	石山 III	基礎的実験を行ない, 操作, 過程の観察および結果の処理を練習する。また, 文献によって実験による研究法を考察する。
体育測定評価	石山 III	体育における測定・評価の意義, 目的, 対象および操作。
女子体育論	山中 II・III後	体育に関しての女子の使命と意義, 及び現代の諸問題について。
体育運動学	石山 I 後	“遊び”の理論。
体育運動学	林 II	運動文化と女子の身体適性。
舞踊論	山中 I 後	舞踊史・舞踊美・舞踊の本質について。
女子スポーツ論	石山 I 前	女子スポーツの性格と基本的問題。
健康教育概論	松本 II 後	母子を対象にした健康教育を中心に講述。
解剖学	渡辺 II 前	人体の系統解剖学中特に運動に必要な骨格系と筋肉系等と合わせて今年は中枢神経系を講述する。
生理学 I	渡辺 II 前	生理学概論及び運動に直接関連する循環器系について講述する。
生理学 II	渡辺 II 後	教育生理学的考え方の下に, 生理学と心理学の橋渡しとなるような接近をする。
生理学実習	渡辺 III	現象として自分達の生体反応を学び, そこから生体内の関係を知る。
衛生学	松本 II 前	主として個人衛生に関する事項を講述する。
衛生学実習	松本 III 隔週	健康を保持増進するための知識・技術を十分に理解するために, 環境衛生検査・水質検査。食品検査・細菌検査・各種施設の見学を行なう。

科 目	教 官 学 年	内 容
体育社会学	菅原 III 後	体育およびスポーツの集団を社会学的に分析し, その特質を明らかにするとともに, 現代社会にみられるスポーツの諸問題にも言及する。
体育管理	未定	
体育史演習	林 II 後	体育史研究法と女子教育思想の発達についての研究。
体育心理学演習	石山 III	Emma McCloy Layman: Mental Health through Physical Education and Recreation.
体育運動各論 (第 I 類)	西 I~III	
体育運動各論 (第 II 類)	林 I~IV	テニス型・野球型のボールゲームとシーズン・スポーツ (水泳, スキー, スケート) の基本的技術およびその指導法。
体育運動各論 (第 II 類)	石山 I~IV	バスケットボール型球技の沿革, 基礎技術およびゲームの一般的運び方。
体育運動各論 (第 II 類)	石山 II 後	各種競技規則の解説とリードアップゲームの研究。
体育運動各論 (第 III 類)	山中 I・II	舞踊表現のための基本的な動きの実技指導。
体育運動各論 (第 III 類)	山中 III	舞踊創作の段階的な実技指導。
体育運動各論 (第 III 類)	山中 IV	舞踊の実際的な実技指導 (学校ダンス・マスゲーム・作品の鑑賞等)
女子身体論	渡辺 II 後	性差の生物学的基礎と社会的効用性について。
体育生理学	渡辺 II 後	運動生理学の見地から循環呼吸器系について講述する。
公衆衛生学 I 類	松本 II 前	疫学及び防疫論, 成人保健, 精神衛生を主として講述する。
公衆衛生学 II 類	松本 II 後	産業保健, 都市・農村保健, 衛生行政, 衛生統計, 社会保障を主として講述する。
公衆衛生学演習	松本 III	公衆衛生学における調査の理論と実際について演習。

科 目	教 官 学 年	内 容
栄養学概論	鈴木 Ⅲ・Ⅳ前	栄養を生態学に整理しながら、いろいろな環境下の人間の栄養について論ずる。栄養学の基礎知識は具体的問題において解説する。
運動障害と救急看護 母子衛生	松本 Ⅲ・Ⅳ後 松本 Ⅲ・Ⅳ前	運動障害と救急看護に関する一般的講述。 公衆衛生の立場から母子の健康問題を考察してみたい。
体育特殊講義Ⅰ	渡辺 Ⅰ・Ⅱ	高次神経系を中心に講述する。特に分析器に関する条件について。
体育特殊講義Ⅱ	渡辺 Ⅲ	生物統計学を用いての統計学的考え方について講述する。

教育学科 音楽教育学専攻

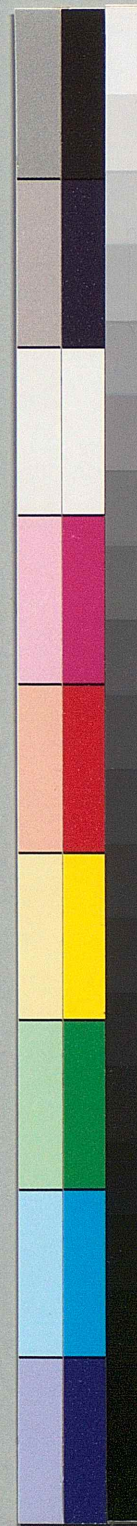
科 目	教 官 学 年	内 容
独 唱	蘭 田 Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	発声法及び各国語による発語、古典、浪漫、近代、現代歌曲及びアリア唱法。
指 揮 法	蘭 田 Ⅳ	合唱指揮法、管弦楽との関係、管弦楽指揮法、総譜演奏法。
連 合 合 唱	蘭 田 Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	女声合唱におけるアンサンブルの技巧及び伴奏楽器との関係。
合 唱	蘭 田 Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	合唱指導法及び編成法、合唱と語法との関係。
基 礎 唱 法	蘭 田 Ⅰ	基礎的発声法研究、ソルフェージュ。
ビ ア ノ	遠 見 Ⅰ	基礎奏法の研究。
ビ ア ノ	遠 見 Ⅱ	古典派音楽の研究。
ビ ア ノ	坪 田 Ⅲ	浪漫派音楽の研究。伴奏法の研究。
ビ ア ノ	宮 島 Ⅳ	近代及び現代音楽の研究。
西 洋 音 楽 史	大 宮 Ⅱ	使用テキスト：(1)アインシュタイン著<音楽史> (ダヴィット社) (2)Grout: The History of Western Music. (一括注文)
音 楽 学 演 習	大 宮 Ⅱ 前	使用テキスト未定。洋書・論文の講読にもとづく演習。
音 楽 形 式 学	大 宮 Ⅲ 後	使用テキスト未定 (プリント)。楽曲分析による音楽形式の研究。
音 楽 美 学 特 講	大 宮 Ⅳ 前	楽曲の分析的研究を通じて、音楽美学的楽曲解釈の研究。
音 楽 美 学	大 宮 Ⅳ 後	テキスト未定 (プリント)。音楽美学史の講述。
音 楽 概 論	美 田 Ⅰ	聴覚訓練及び鍵盤経験を通じて、音楽の基礎能力を養ない、和声学、対位法の学習の準備をする。
和 声 学 Ⅰ	美 田 Ⅱ	バッハの四声体コラールのスタイルに基づいて、18世紀の和声の基礎を聴音、鍵盤経験、創作を通じて学習する。

科 目	教 官	学 年	内 容
和 声 学 II	美 田	III	19世紀及び20世紀の和声法をI・IIの方法によって学び、楽曲の和声的分析を行なう。
音楽教育学演習	美 田	IV	音楽教育に関する特殊問題を原書講読、実験によって研究。
音楽心理学	美 田	III・IV	音楽的反應の心理学的研究。
西洋及び東洋の音楽教育史	美 田	I・II	欧米及び明治以後の音楽教育史。
声 楽	小 泉	III・IV	発声法及び各国語による発語、古典、浪漫、近代、現代歌曲及びアリア唱法。
対 位 法	萩 原	IV 前	Noël-Gallon, Marcel Bitsch 矢代秋雄訳：対位法 <i>Traité de Contrepoint</i> ¥750 音楽之友社刊
作 曲 法	萩 原	IV 後	Richard Stohr 属啓成訳：音楽形式学 <i>Musikalische Formen lehre</i> 音楽之友社刊
音楽学特講	黒 木	II・III・IV前	音楽心理学の基礎としての、音響の物理的特性および聴覚の生理、心理的基本特性の解明とその研究法の解説。
日本音楽史	吉 川	II・III・IV前	日本の原始時代から現代までの音楽の歴史を、次のテキストを使って概説する。 吉川英史：日本音楽の歴史（創元社）¥1700を約2割引
音楽教育学特講	未 定	III・IV後	
音楽史特講	吉 川	II・III・IV後	日本音楽の特性と理論を研究する。

文教育学部共通講座

科 目	教 官	学 年	内 容
法 思 想 史	井 上	II~IV	隔年講義
法 社 会 学	渡辺洋	III・IV	農業問題、労働問題、教育問題、憲法問題を取りあげ、法と社会、行政、裁判についてのべる。テキスト6法全書、参考書、渡辺・日本における民主主義の状態（岩波新書）。
経 済 史	安 藤	II~IV	未 定
経済理論政策A (経済政策)	加 藤	II~IV前	現在のわが国の財政問題を中心とし、それをつうじて現代資本主義の課題と政策を明らかにする。テキストなし。
経済理論・政策B (近代経済学)	宇 野	II~IV後	近代経済学の2つ柱としてのミクロ経済学とマクロ経済学のそれぞれについて概観し、経済の問題がそれによっていかんか解明されるかを見る。
社会学特講	園 田		
社会調査	園 田	II~IV	理論と調査、社会科学方法論、社会調査の技法および実際についての講義を行ない、それと並行して適宜地域の実態調査をも実施する予定。
国際法・国際政治	筒 井	II~IV	国際法の概要を伝えるが、特に、国際連合を始めとする国際機構の実体面に留意するよう努める。参考書は追って指定する。
言語学概論	北 村	I・II	言語の本質を考え、言語の構造と体系およびその研究方法について述べる。
ギリシャ語	田 中	II~IV	ギリシャ語初歩。（教科書）未定。
ラテン語	田 中	II~IV	ラテン語初歩。（教科書）樋口・藤井著『詳解ラテン文法』研究社、450円。
ロシア語	未 定	II~IV	

家 政 学 部



児 童 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
児童発達原理 第 1	浅 見	I 後	精神発達全般を通じる原理について概観し、 児童理解の基礎を与える。
児童発達原理 第 2	平 井	I 後	人間の発生・胎児から青年期に至る身体発育 の概要を述べ、発育に及ぼす影響因子につい て論じ、精神発達との相関について検討する。
児童発達各論 第 1	平 井	II 前	胎児期・新生児期・乳・幼児期・学童期・青 年期など各期における発育・生理の特徴につ いて述べ、養護論及び保育論の基礎的諸問題 を論ずる。
児童発達各論 第 2	津 守	II 後	とくに乳幼児および児童の精神発達について 講義する。内外の児童発達分野の諸研究の 概要。
児童発達各論 第 4	田 口	II 後	出生から学齢までの、話しことばの発達の概 要と、それに影響を及ぼす各種の要因。
児童学演習第 1	松 村	I	児童学の動向、対象と領域の一般的な知識が 習得されるように、本邦文献を中心として演 習形式で研究的にすすめる。
保育学第 1	津 守	II 後	幼児保育の一般的問題について講義する。
児童福祉第 1	辻 村	II 前	「児童福祉」とは何か、という問題を、主と して明治以降のわが国児童保護問題の発展の 跡を省みながら解説する。
児童福祉第 2	辻 村	II 後	第二次大戦後のわが国の児童福祉に関する諸 制度とこれにかかわる諸問題を概説する。
児童文化第 1	坂 本 (越)	II・III・IV 前	児童文化の本質、児童文学その他児童文化財 について(対象,教育学科および児童学科,幼教)
家庭教育	森 田	III 後	第 1 (1) 家庭とは何か

科 目	教 官	学 年	内 容
家庭教育	森 田	Ⅲ 後	(2) 家庭における人間関係 (3) 家庭教育の意義と機能 (4) 家庭と社会 第2 (1) 家庭における問題の諸相 (2) 家庭教育の実際 (3) 現代家庭教育の問題点 (4) 家庭教育と学校教育 第3 (1) 家庭の生理と病理 (2) 家庭と教育の再発見 (3) のびゆく子供と家庭 テキスト「しつけの再発見」 森田宗一・良子著 ¥400 日本経済新聞社発行
児童臨床心理学	松 村	Ⅲ 前	(1)臨床心理概説。(2)適応と変革の理論と技法。 (3)精神衛生の動向。(4)Projective Test (a)。
児童精神医学	平 井	Ⅲ 後	乳児期より青年期に至る脳障害・精神障害・神経症・精神身体症状などにつき、原因・予防・治療について講述し、素質と環境・正常と異常について論ずる。
児童学実験演習第1	平 井	Ⅱ 前	身体発育、生理に関する各種の測定法、検査法、及び運動能力テストについて実験実習する。
児童学実験演習第2	浅 見	Ⅱ 前	児童学研究(主として心理面)における実験研究のために必要な基礎的典型的実験方法の実習ならびに調査法、評価法の訓練。
児童学実験演習第3	浅 見	Ⅱ 後	知能測定、性格測定、教育測定、その他精神測定法に関する概説および実施法の訓練。
児童学実験演習第4	津 守	Ⅱ 後 Ⅲ 前	観察法を実習する。幼児の行動観察の技法を習得することを目的とする。

科 目	教 官	学 年	内 容
児童学実験演習第5(精神検査)(精神検査)	松 村	Ⅲ 後	知能検査、性格検査、その他検査の概説と演習。(1)臨床心理学各論。(2)Projective Test (b)。(3)Role Techniques
脳神経生理学	平 井	Ⅲ 前	脳神経生理の概要及び発育期における特徴について述べ、それが子どもの精神発達及びその異常といかに関係するかについて論ずる。
児童発達各論第3(青年)	西 平	Ⅱ 前	青年心理学の方法論および諸資料の検討。ならびに青年の治療と教育法としての青年分析の手法。テキスト：拙著「大日本図書刊青年分析」¥270
比較発達心理学	浅 見	Ⅲ 前	系統発達および文化人類学的な観点からひろく発達の現象をとりあげて比較考察を行ない、人類の特殊性について。
比較発達学演習	浅 見	Ⅲ 通	動物を用いた簡単な実験演習および外国文献(独語・英語)の講読演習を通して比較の立場に立つ発達に関する諸研究を通覧する。
児童学演習Ⅱ	津 守	Ⅳ 前	児童発達および家族関係について文献を講読し、討議する。
児童学演習第三	浅 見	Ⅳ 通	青年期に関する諸問題を種々の資料をもとにして論議、考察し、問題点を明らかにして青年のあり方を考える。
児童学実験演習第6(言語・聴覚検査法)	田 口	Ⅳ 前	子どもの言語能力・聴覚機能の診断に必要な各種臨床検査法の理論と実技。
保育学第2	津 守	Ⅲ 後	保育学の諸問題について、高度の研究を行う。
保育学第3	平 井	Ⅱ 後	胎児より青年に至る各期の養護・看護の一般論について述べ、その問題点を考察し、身体発育に及ぼす促進因子・阻害因子について検討する。

科 目	教 官	学 年	内 容
保育学演習	津 守	Ⅱ～Ⅳ	幼児の実際保育にふれ、保育の過程、教材、その他諸問題について研究する。前期と後期と別にとることができる。
保育技術	某	Ⅲ 前	幼稚園教育の目標・内容・教育課程・指導法などについてしらせる。
保育実習第1	坂 元	Ⅲ	幼児の保育についての観察や実習を行なわせ、幼稚園教育の本質、その教育課程、指導法などについて習得させる。
保育実習第2	平 井	Ⅲ 前	乳児院における実習を行ない、身体発育、精神発達の実態を観察し、養護について実習すると共に施設児についての社会的問題を考究する。
小児病学	宮 崎	Ⅲ 後	発育に影響を及ぼす代表的な小児病の原因・症状・予防・治療を紹介して、小児の理解に資し、小児管理の実際に役立つ。
小児栄養学 (集中講義)	武 藤	Ⅱ 後	幼児の栄養の理論と実際
児童臨床演習 第 1	平 井	Ⅳ 通	児童精神医学に関する内外の文献を読み、それらの理論について討論する。(文献は研究室において準備する。)
児童臨床演習 第 2	松 村	Ⅳ	(1) Counseling の理論と技法。(2) Psychodrama の理論と技法。(3) 集団心理療法の理論と技法。
言語障害治療学	田 口	Ⅲ 通	発音異常・どもりその他の言語障害をもつ子どもの、診断・指導の原理と方法。
児童福祉第3	植 山	Ⅲ 前	児童福祉上、母性、母子に関する問題の実態を分析し、その問題点を把握する。そして、それを社会保障の施策と将来の方向について講述する。

科 目	教 官	学 年	内 容
児童福祉演習	辻 村	Ⅳ	児童福祉に関する最近の内外文献を選択講読、随時施設見学を行う。
特殊児童の問題第1	〃	Ⅲ 前	盲、聾、精神薄弱などの心身に障害のある児童の心理的な特性と、これに基づく教育、保護の方法を論ずる。
特殊児童の問題第2	田 口	Ⅲ 後	肢体不自由児とくに脳性まひ児および重症心身障害児の、医療・教育・福祉の問題および対策。
児童文化・第2	周 郷	Ⅱ・Ⅲ 後	児童文化とは何か——人類史のなかでその過去と将来のパースペクティブを明かにし、現代の子供の動態をセミ風に展開する。
児童文化第3	林	Ⅲ	子どもの美術教育の歴史とその実際指導上の問題点についての概論。
児童環境学第1	辻 村	Ⅰ 後	欧米における、児童の社会的処遇や児童観の変遷発達をのべて、児童の社会的環境が児童生活に及ぼす影響を考える。
児童環境学第2	船 川	Ⅱ 前	家庭や、社会生活の中での小児がどのような健康状態であって、どのような問題をもっているか。この対策をどのようにするか。
児童集団理論	松 村	Ⅱ 後	(1) 児童集団の構造と機能。(2) 小集団の理論と技法。
幼児音楽	某	Ⅱ	
児童文化第2	某	Ⅲ	

食 物 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
栄 養 化 学	稻 垣	Ⅲ 通	栄養素の化学, 生理的意義, 新陳代謝および栄養要求量などについて, ビタミンについてはその歴史, 構造, 性状, 生理作用, 所在等について。
栄 養 化 学 実 験	稻 垣 五十嵐	Ⅲ 後	各種ビタミンの抽出, 化学的定量, 動物実験および, 醗酵微生物実験, 主要酵素の分離, 測定。
栄 養 生 理 学	小 池	Ⅲ 通	人体の構造と各臓器の機能を明らかにし, 栄養との関係を考える。テキスト: 小池五郎著「栄養生理学」¥ 1.000 女子栄養大学出版社
食 品 化 学 第 1	小 林	Ⅰ 通	農産食品成分及び食品成分に関する基礎的有機化学。
食 品 化 学 第 2	山 西	Ⅲ 前	水産食品の成分及びその調理, 加工貯蔵中の化学的变化について講義する。
基 礎 化 学 実 験	某	Ⅱ 通	天秤・容量分析(中和・酸化還元・沈澱)・重量分析・融点・分子量測定・密度・粘度・再結晶・蒸留・抽出・クロマトグラフィー
食 品 化 学 実 験	山 西 小 林	Ⅲ 前	食品成分の分離, 定性, 定量及び簡単な有機合成。
食 品 貯 蔵 学	福 場	Ⅲ 前	でんぷん, 脂肪等の食品構成成分の貯蔵間の変化および最新の食品貯蔵法と食品品質の問題について主として取扱う。
調 理 学 及 実 験	松 元	Ⅱ 後 Ⅲ 前	調理に関する基礎的実験及び食品の調理性に関する講義。 松元文子著:「調理実験」 (柴田書店 ¥ 450)

科 目	教 官	学 年	内 容
調理学実習第1	板 橋	Ⅲ 後 Ⅳ 前	日本料理一般の講義・実習。主として中国料理一般の講義・実習。
生 物 化 学	五十嵐	Ⅱ 通	栄養・食品・調理の基礎としての糖質・たん白質(核酸を含む)・脂質(ホルモンを含む)などの化学および物質の生化学的变化について。
食 品 品 質 論	山 西	Ⅲ 後	食品の品質を左右する色, 香, 味に関する化学。
食 品 化 学 第 3	藤 巻	Ⅲ 後	畜産食品(乳, 肉, 卵)についてそれらの性状, 製造中の変化, 品質などを化学的に説明考察する。 中西ほか: 畜産物利用学(朝倉書店¥ 1.000)
食 品 物 性 論	右 田	Ⅳ 前	食品のレオロジー的性質およびその食味・調理などに対する関係のべる。
食 品 微 生 物 学	養 田	Ⅲ 前	微生物の種類, 微生物の栄養と生理, 微生物の生育と増殖, 微生物菌体と食品, 微生物代謝と食品, 微生物酵素と食品, 醸造。
食 物 衛 生 学	興 津	Ⅲ 前	食品衛生法規の概説, 添加物の使用基準についての解説, 飲食物に起因する伝染病, 食中毒の種類, 特徴, 防止法について。
調 理 器 具 論	武	Ⅲ 前	熱調理器具(オープン・レンジ・トースタ・圧力なべ), 成型器具(包丁・ミキサー), 食器などにつき, 種類, 材質, 構造, 品質, 性能について講義する。
調理学実習第2	吉 松	Ⅳ 前	各様式の献立構成及び実習並びに食卓作法。
食 事 計 画 論	松 元 東 畑	Ⅲ 前 Ⅲ 前	日常食献立の理論と献立作製の演習。 日常の食事の中で特に病人の場合の食事計画と献立作製に関する講義。 テキストなし

科 目	教 官	学 年	内 容
食糧経済学	桜井	Ⅲ 後	日本における食糧の消費の諸問題について総合的な考察を行う。
食物史	石川	Ⅳ 後	わが国における食生活の構造発展を、主として近世より近への社会体制変動期とかかわりをつけながら講義する。
食物研究法	吉川	Ⅲ 前	食品の評価方法と理化学測定に関する講義。テキスト 食品の官能検査法 ¥ 7 0 0 光琳書院 統計的方法 ¥ 1.2 0 0 農林統計協会
食物学演習	全教官	Ⅳ 通	外国で発表された近着研究論文の解説と討論。
栄養学輪講	稲垣 五十嵐	Ⅳ 通	栄養学に関係ある外国文献の輪読。
食品学輪講	山西 小林	Ⅳ 通	食品学に関する文献の輪読。
調理学輪講	松元 吉松	Ⅳ 通	調理学に関する文献の輪読。
統計学 統計学演習	田口	Ⅲ 後	被服学科開講科目参照12頁
基礎化学Ⅱ	内田	Ⅱ 前	化学熱力学序論 テキスト：ストロング，ストラットン著 関， 崎山訳「化学エネルギー」 ¥ 3 5 0 共立社 モダンケミストリー
基礎生物学Ⅱ			基礎教育科目の講義内容参照のこと。

被 服 学 科

科 目	教 官	学 年	内 容
被服材料学第1	松川	Ⅰ 前	被服材料の種類。繊維，糸，織物，メリヤス等の構造と性質。繊維各論（製造，性質など）。非繊維材料の概略。松川：被服材料（家政教育社 ¥ 3 8 0）
被服材料学 実験第1	酒井	Ⅱ 前	織物・糸の構造，繊維側面の検鏡，繊維の鑑別，防シワ性，ドレープ性，布の収縮率，わたの吸水量，布への水浸透性，布の引張り強さ，伸び率，布の帯電性，布の保温性。
染色化学第1	林	Ⅱ 前	1.染色総論，2.染料の部属別分類と特性，3.染料・染色物の色，4.染色物の堅ロウ度，5.染色理論概要，6.各種繊維の染色。 矢部・林：染色概説（光生館：¥ 6 0 0）
染色整理学実験	林	Ⅱ 後	1.染料の識別，2.直接染料による染色，3.酸性染料による染色，4.水の硬度測定，5.洗剤溶液の特性，6.洗濯機の洗浄力，7.螢光増白・漂白，8.糊付け・アイロン仕上げ，9.ロウケツ染め。
被服整理学第1	林	Ⅰ 後	1.被服の洗浄（ヨゴレの種類とつき方，洗浄の方式と方法，洗浄剤・洗浄力試験法，洗浄による被服の劣化，2.被服の仕上げと加工。 矢部・林：被服整理学概説。 （光生館：¥ 6 0 0）
被服機構学	三平	Ⅱ 後	人間—被服—外界を一系とする被服の熱・水分等の伝達問題，変形・拘束問題およびそれが被服の構造との関連をシュミレーションとレオロジ理論から解説する。
日本服飾史	谷田	Ⅰ 後	上代より近世に至る服飾の概観。特に基本資料の検討を加える。
意匠学実習	熊本	Ⅰ 前	平面構成実習・色彩構成実習。

科 目	教 官	学 年	内 容
被服構成学実験 実習第1	柳 沢	I	衣服製作に必要な基礎的技術。
服飾美学	谷 田	II 後	造形活動一般の中における服飾造形の位置づけ、服飾の多元的契機、服飾類型等の基本問題。
被服構成学第1	柳 沢	II 後	衣服の立体構成に関する基礎的事項。
服飾意匠学	石 山	III 後	意匠の理念。服飾の特性。服飾の系譜。現代の服飾。流行と意匠。着装論。適合と統一の論理。個性と服飾。材質と服飾など。
被服材料学第2	松 川	II 後	合成高分子(繊維等への応用)。繊維の構造、化学的性質(第一の補遺)。繊維の定性、定量。紡織概略。布地の物理的性能測定法。特殊加工布。
染色化学第2	矢 部	II 前	1.染料の色と化学構造, 2.色の物理的表示法, 3.染色平衡論および染色速度論。
被服整理学第2	矢 部	II 前	1.界面活性剤溶液の性質, 2.界面活性剤溶液の作用, 3.洗浄における機械作用, 4.洗浄過程の解析など。
基礎化学実験	松 浦	II 通	天秤・容量分析(中和・酸化還元・沈澱)・重量分析・融点・分子量測定・密度・粘度・再結晶・蒸留・抽出・クロマトグラフィー
被服衛生学	田多井	II 前	質, 吸湿性, 電気的性質, 内部構造などを基礎的に述べる。環境と人体機構を中心に, その適応における被服の役割について。田多井吉之介・田多井恭子:「最近被服衛生学」(光生館)
被服構成学第2	石 田	II 後	衣服の平面構成に関する基礎的事項。

科 目	教 官	学 年	内 容
被服構成学実験 実習第2	柳 沢	III	体型観察並びに衣服の立体構成に関する実験実習。
色彩学	金 子	II 前	色彩の科学に関する基礎を生理・心理・物理の各側面から考える。テキスト:塚田敢著「色彩の美学」紀之国屋書店¥
西洋服飾史	谷 田	II 前	古代より近世に至る西洋服飾の主流の概観。
繊維化学	松 川	III 前	高分子化合物(重合, 分子構造, 結晶, 溶液, 物性など)。紡糸と人造繊維。天然繊維の微細構造と化学。合成繊維の化学。
被服材料学実験 第2	松 川 酒 井	III	繊維の幅, 顕微鏡写真。比重。屈折率。分離定量。酢化度。平均分子量。軟化点, 融点。糸, 織物の強伸度。剛性率。剛軟度。クリープ。圧縮性など。
応用物理化学	矢 部	III 後	1.染色化学: 染色構造論, 堅ロウ性の理論(光化学など), 2.被服整理学: 応用界面化学(ぬれ, 乳化, 包散, 界面電気現象など)
染色化学実験 第1	林	III 前	1.染料の鑑別(繊維上), 2.染色量の定量法, 3.各種染料の染色性・堅ロウ性試験, 4.関係基礎分析法
染色化学実験 第2	矢 部	III 後	測色とCIE系表色の計算, 染色平衡と親和力測定, 巻層法による拡散定数の測定, 単分子膜レンズ法, など。
被服整理学実験	林	III 後	1.洗剤の分析, 2.洗剤溶液の特性(表面張力・起泡力・c. m. c., 浸透力) 3. Fe_2O_3 ヲゴレの付着量と表面反射率, K/S 値との関係, 4.漂白剤の有効成分(塩素・酸素), 5.単分子膜レンズ法による微量油脂の定量。

科 目	教 官	学 年	内 容
被服科学演習 第 1	松 川	Ⅲ・Ⅳ 通	繊維の諸性質を他の高分子化合物と関連させながら学ぶ。F. W. Billmeyer: <i>Text-book of Polymer Science</i> (トッパン 約¥2,000)
被服科学演習 第 2	矢 部 林	Ⅲ・Ⅳ 前後	Th. Vickerstaff: "The Physical Chem. of Dyeing" および K. Durham: "Surface Chemistry and Detergency" につき演習。
被服科学輪講	矢 部 松 川 林	Ⅳ	外国近着専門雑誌の要約発表と、関連する討論。
繊維物理学	三 平	Ⅲ 前	糸および布の構造と物理的性質、熱、通気、透湿、収縮、シワ、触感、耐久力、疲労、摩擦に関する性質の理論と性能。 基礎教育科目の講義内容参照のこと。
基礎物理学 A・B			基礎教育科目の講義内容参照のこと。
基礎化学Ⅱ			同 上
統計学	田 口	Ⅲ 後	1) 調査, 実験データの解析法 (a) 変動, 分散, 自由度, F検定などの基礎的事項 (b) 一元, 二元配置法等簡単な実験の計画法とデータ解析法 (c) 測定, 試験, 分析, 計測などにおける誤差の取扱い方。
統計学演習	田 口	Ⅲ 後	2) 統計資料の作り方と利用法。 統計資料, 特に身体計測統計資料の作り方とその利用の仕方について実際の例で説明する。

科 目	教 官	学 年	内 容
被服構成学第3	石 毛	Ⅱ 前	縫製に必要な基礎事項を実験結果から解説, 例えばブラウス, スカートの各部のゆるみ分量。布地にあった糸, 針目, 針の関係。袖山のいせこみ分量。バイアステープのつけ方。スカートの裏打布。衿の丸みの縫い方。スカートのプリーツ止りの縫い方など。
被服構成学実験 実習第3	石 田	Ⅲ 通	衣服の平面構成に関する実験実習。
被服構成計画	渡 辺	Ⅲ 後	主として防寒服・防暑服設計について。
被服構成学特講	丸 安	Ⅲ 前	実体写真による測定法の基礎理論と実習。
被服構成学演習	柳 沢	Ⅳ	被服構成学の講義に関連した演習。
服飾意匠学実習 第 1	石 山	Ⅲ 前	Fashion 画に重点をおく。
同 第 2	石 山	Ⅳ 前	Dress design の着想と意匠展開。
服飾意匠学特 講 A	石 山	Ⅳ 後	各論(外形と服型。えり型。袖の意匠学。トリムの意匠学)と流行論。
服飾意匠学特 講 B	北 原	Ⅲ・後	衣服産業論。
服飾意匠学演習	石 山	Ⅳ	Chambers, Selling Fashion Merchandise 及び A Fashion Manual 。
東洋服飾史	谷 田	Ⅲ 後	中国服飾を中心とし, 特にその日本への影響関係に及ぶ。
服飾美学特講	谷 田	Ⅲ 前	流行及び美的範疇の問題を中心とする。
服飾美学演習	谷 田	Ⅳ 通	美学的方法の基本的な理解に資するための講読その他。

科 目	教 官	学 年	内 容
美学特講	谷 田	Ⅳ 通	(前期)芸術の自律と行為の坐標の問題を中心として。(後期)特に工芸造形の史的事例に基いて。
服飾史特講A	田 実	Ⅲ 前	現代の和服の原形である小袖について、その形態・文様・地質の変遷を、服飾史・染織史研究の立場から実証的に説明する(適宜スライド使用)。
服飾史特講B	丹 野	Ⅲ 後	衣服の原始形態の類別と、その発生的特徴さらにそれらがどのような歴史の必然によって変るか、西欧の具体例によって解明を試みる。
基礎数学Ⅱ			基礎教育科目の講義内容参照のこと。
統計学 統計学演習			A. 被服科学コース参照
被服衛生学	田多井	Ⅱ 前	質, 吸湿性, 電氣的性質・内部構造などを基礎的に述べる。環境と人体機構を中心に、その適応における被服の役割について。田多井吉之介・田多井恭子:「最近被服衛生学」(光生館)

家庭経営学科

科 目	教 官	学 年	内 容
家政学原論第1	田 辺	Ⅰ 前	家政学基礎論, 生活論
家庭経済学概論	伊 藤	Ⅰ 前	家庭経済についての基礎的理解と家計の現状分析。
家庭管理学概論	稲 葉	Ⅱ 前	家庭生活における労力と時間の使い方に関する一般論。
家族関係学概論	湯 沢	Ⅱ 前	家族関係の基礎理論と分析方法を夫婦・親子・親族・老人・家族紛争の諸問題に則しておもに社会学の視点から解説する。
住居学概論	浜 口	Ⅱ 前	生活を包む住居が構築体として形成されるために必要な要素気候風土, 社会経済家族材料技術工法等を自然科学社会科学工学の関連において考える。

家政学部 共通科目

科目	教官	学年	内 容
家政学原論	田 辺	I 前	人としての生活に於ける家庭の意義を家の機能, 家族, 生活慣習などの面から総合的に考えてゆく。
児童学概論	平 井	I 前	小児保健の概要及び育児の要点について, 児童学の分野・対象・方法について。
同 上	津 守	I 後	児童学の扱う諸問題にふれ, 児童学の諸分野について一般的な輪廓を把握するように講義する。
食物学概論	稲垣他	I 後	栄養・食品・調理を関連づけて講義する。
被服学概論	柳沢他	I 前	被服材料学, 染色, 整理学, 服飾美学, 服飾意匠学, 被服構成学の概要。
家庭経営学概論	田辺他	I 後	家庭経営の理念, 実践, そしてその問題点などについての概説。
住居学概論	浜 口	II 前	生活を包む住居が構築体として形成されるために必要な要素気候風土, 社会経済家族材料技術工法等を自然科学社会科学工学の関連において考える。
家庭機械及び家庭工作(設計及び製図を含む)	曾我部	II 前	製図の基礎, 機械製図についての講義および実習と, 簡単な木材加工実習。
家庭看護法	金 子	III 後	家族の健康保持, 老幼弱者の養護, 病人の療養生活, 救急処置一般の理論と実際。テキスト: 福田・木下著「最新家庭看護」¥560 同文書院
家庭科教育法(教職用)	山 脇	III 前	家庭科教育の変遷, 指導の目標, 教育課程の編成, 学習指導の計画, 単元の設立および展開, 学習指導の方法など。

補 導 委 員

区分	1 年	2 年	3 年	4 年
哲 学	尾 田 幸 雄	勝 部 真 長	茅 野 良 男	柳 宗 玄
史 学	大 口 勇 次 郎	青 木 和 夫	(日本史専攻) (東洋史専攻) (西洋史専攻)	中 村 一 良 市 古 宙 三 尾 鍋 輝 彦
地 理	浅 井 辰 郎 浅 海 重 夫	正 井 泰 久	松 井 勇	渡 辺 光 式 正 英
国 文	次 田 真 幸	江 湖 山 恒 明	堤 精 二	市 川 孝
中 文	中 山 時 子	中 山 時 子	中 山 時 子	中 山 時 子
英 文	長 谷 川 潔	野 島 秀 勝	酒 本 雅 之	伊 吹 知 勢
教 育	坂 本 越 郎	周 郷 博	森 隆 夫	波 多 野 完 治
体 育	石 山 平 作	山 中 茂 子	渡 辺 俊 男 林 巖	松 本 幸 久
音 楽	遠 見 豊 子	大 宮 誠	蘭 田 誠 一	美 田 節 子
数 学	稲 葉 栄 次	立 花 俊 一	林 田 侃	伊 関 兼 四 郎
物 理	阿 阪 三 郎	下 瀬 恒 人	橋 爪 夏 樹	坂 上 治 郎
化 学	岡 嶋 正 枝	立 花 太 郎	佐 野 博 敏	阿 武 喜 美 子
生 物	団 ジーン 津 山 尚	米 田 満 樹	塚 本 晃	新 関 滋 也 荒 木 忠 雄
児 童	辻 村 泰 男	浅 見 千 鶴 子	津 守 真	松 村 康 平
食 物	山 西 貞	稲 垣 長 典	吉 松 藤 子	小 林 彰 夫
被 服	林 雅 子	石 山 彰	谷 田 闊 次	松 川 哲 哉
家 庭 経 営	湯 沢 雅 彦			
幼 教	村 田 修 子	村 田 修 子		

昭和43年度行事予定表

月 日 (曜)	事 項
4月上旬	前学期授業時間割発表
4月10日(水)	入学式
4月13日(土)	前学期授業開始
4月下旬	卒業(修了)見込者の就職指導開始
5月上旬	定期健康診断(2年次以上)
5月中旬	全学遠足
5月中旬~6月	球技大会
6月5日(水)~22日(土)	高校・中学観察参加(4年次)
7月2日(火)	授業終了
7月3日(水)~17日(水)	第1期教育実習(4年次)
9月3日(火)~17日(火)	第2期教育実習(4年次)
9月11日(水)	授業開始
10月下旬	後学期授業時間割発表
10月3日(木)~9日(水)	前学期末試験
10月11日(金)~20日(日)	前学期末休業
10月21日(月)	後学期授業開始
10月~11月	体育祭・文化祭
11月29日(金)	創立記念日
12月24日(火)	授業終了
1月8日(水)	授業開始
2月7日(金)~13日(木)	卒業(修了)予定者試験
2月20日(木)~26日(水)	第3年次以下試験
3月下旬	卒業(修了)式

